

外国人宣教師日本語著作目録【ア行】_2018年3月27日公開

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Armstrong, Robert Cornell		アームストロング		1876-1929		カナダ・メソジスト教会 (プロテスタント)		カナダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00001	基督教の体験	単著	アール・シー・アームストロング 著、川島保等 訳	同行社	東京	1925	93p	一 献本の辞、一 序文、一 序文、基督教の体験 第一章 個人の基督教化に関する心理学的考察 / 1 第二章 神の体験と道徳的品性の創造 / 34 第三章 神の体験と社会奉仕 / 51 第四章 基督教体験と十八世紀に於ける英国の社会改良事業 / 73	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45969332	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/964178

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Ainciart, Jean Pierre		ジャン・ピエール・アインシアルト		1923-1987		カトリック・パリ外国宣教会		フランス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00002	函館とカトリック	共編	ジャン・ピエール・アインシアルト、トーマス高島源一郎 編	函館元町カトリック教会	函館	1959	114p	目次/富沢司教様の序文/阿部たつを氏の序文 /一、鎖国の夢破れて 二、メルメ・デ・カッション師の函館における足跡 三、アルンブルスター師と箱館戦争/四、植物学者フォーリー神父 五、ルコント師とトラピスト/六、ペルリオス司教の函館における業跡 七、その後の函館カトリック教会の趨勢/あとがき/参考資料	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA82582353	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940702

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Acaso, Fernando		フェルナンド・アカソ		1932-		カトリック・オプス・デイ会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00003	神父様、納豆好きですか? : 青い目が見てきた日本	単著	フェルナンド・アカソ 著	聖母の騎士社	長崎	2004.7	154p	まえがき 初めてのお風呂/ご飯の味、英会話/長崎巡礼、伊勢湾台風/大阪外国語大学 富士山登山/「精道塾」の始まり 京都、そして東京/自分をごまかしたくない 日本語の勉強/本を読み始めたら、三十五ページまで あばたまえくぼ/ホテルでの結婚式 一ドル、三百六十円/沼島と奥芦屋 隣人を愛する/カトリック学連と安保闘争 日ソ友好協会からの招待/京都河原町教会の丸山神父様 東京オリンピックとビール/長崎の精道学園 男女別学/私は、一体誰でしょうか? 小学校一年生のデッキ祈り/苦しいときの神だのみ 教室のポスター/一家の洗礼、ヤクザな商売/コンベントウス 田中千代吉神父様/日曜信者、病院の六人部屋/絆の保護管 ヨハネ・パウロ二世の来崎/原爆は悪くありません 日本はどうなるのか/あとがき	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73500460	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Atkinson, John Laidlaw		ジョン・レイドロー・アッキンソン		1842-1908		アメリカン・ボード (プロテスタント)		イギリス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00004	二門孰乎	講述	アッキンソン 講述	米國聖教書類會社、大阪福音社	横浜、大阪	1887.6	12p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16059493	-
MB00006	詩篇註釈 前編	講述	アツキンソン 述、村上俊吉 記	福音社	大阪	1892	297p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA79023466	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825500
MB00007	赤十字社と看病法の起源	単著	アツキンソン 述、村上俊吉 記	村上俊吉	神戸	1895	22p	第一、赤十字の起源/第二、看病の沿革	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/798704

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Habito, Ruben		ルベン・アビト		1947-		1989年までカトリック・イエズス会		フィリピン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00008	宗教と世界の痛み：仏教・キリスト教の心髄を求めて	単著	ルベン・アビト 著	明石書店	東京	1991.11	232p	はじめに—観世音の涙/1 宗教の交流から II 仏教は解放宗教たりうるか/III アジアの解放とキリスト教 IV 日本における宗教の役割/あとがき	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07097990	-
MB00009	アキノ政権とフィリピン社会：わたしの伝えたいフィリピン	共著	ルベン・アビト、千野境子 共著	亜紀書房	東京	1989.11	215p	I 神のこととバポンのこと /1、II <対談> フィリピン社会とカトリック/25 III フィリピン・カトリシズム—二重の役割 /61、IV フィリピン史の人々/79 V <対談> コンバドレ社会の生活と文化 /103、VI あるエリート官僚の死 /139 VII <対談> アキノ革命の夢と現実 /155、VIII 未来へのひとつの希望 /187	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04166791	-
MB00010	親鸞とキリスト教の出会いから：日本的解放の霊性	単著	ルベン・アビト 著	明石書店	東京	1989.2	180p	はじめに—日本的解放の霊性のために— 世界を変える霊性 二 信仰と社会的実践/三 御慈悲みに身をゆだねて/四 宗教者と歴史認識 五 救済について/六 共苦の世界から/七 わたしのからだ おわり 諸宗教の対話と解放の霊性	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03607472	-
MB00011	聖書と親鸞の読み方：解放の神学と運動の教学	共著	ルベン・アビト、玉光順正 共著	明石書店	東京	1989.12	213p	はじめに I 聖書を読む— 聖典の実践的読み方/二 仏教における人間解放 三 宗教における「個」と「社会」の接点 II 親鸞を読む— 運動としての親鸞/二 真宗として、解放の神学から何を学ぶのか 三 死刑廃止のために III 対談 解放の神学と運動の教学	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04283467	-
MB00012	アジアのことが気になるあなたに	共著	アグネス・チャン、ルベン・アビト 共著	めこん	東京	1989.12	154p	1 アジアの人とつきあうまえに、これだけは /11 2 アジアから日本人を見ると /35 3 アジアからの出稼ぎ労働者は何を考えるか /45 4 日本の海外援助は本当に役に立っているのか /57 5 アジアからの花嫁は何を思う /71 6 日本男性のモラルはどうなっているの /95 7 アジアのジレンマ—フィリピンの場合— /99 8 難民の後ろに何が /116、9 いつまでたっても外国人 /135 10 今の日本ってマトモなのかな /139	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04442287	-
MB00013	病める日本をみつめて：人間解放と宗教の再生	単著	ルベン・アビト 著	御茶の水書房	東京	1988.2	247p	序 病める日本をみつめて /1 1 第三世界民衆の解放のヴィジョン、フィリピンの民衆と解放の神学/14 宗教者による解放の実践/30、民衆の力と解放の思想/44 歴史における神の国づくり/102、社会変革と宗教者/114 II 日本社会の解放のために 日本における解放の神学/124、経済大国日本/144、人間の中の「非人間」/155 仏教の「国際化」とは何なのか? /162、鎌倉仏教の宗教心/181 『般若心経』と日本人/200 おわり—人間解放と宗教の再生/239	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02238814	-
MB00014	これからのフィリピンと日本：民際交流のすすめ	単著	ルベン・アビト 著	亜紀書房	東京	1987.5	237p	序 これからのフィリピンと日本 /i I 新しいフィリピンと民衆の課題 /1、II フィリピンから日本がみえる/71 III 日本人との対話 /165	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01446452	-
MB00015	解放の神学と日本：宗教と政治の交差点から	共著	ルベン・アビト、山田経三 共著	明石書店	東京	1985.3	236p	はじめに 第一部 ルーベン・L・F・アビト I 解放の神学とは何か—その背景と展望をめぐって—/3 II 解放の霊性—実践を照らす福音的視点—/37 III 解放のイメージを求めて—現代日本社会の病理学から—/64 第二部 山田経三 I 解放の神学と社会分析/89、II 労働の場の変革をめざして/143 III アジアの民衆が日本に問いかけるもの/178 補論 解放の神学—その意味と課題—/211、おわり—宗教と政治の交差点/229	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN00627429	-

MB00016	解放の神学が問いかけるもの ; アジアの現実と日本の課題	共著	ルーベン・アビト、山田 経三 共著	女子パウロ会	東京	1985.2	279p	はじめに 日本において「解放の神学」が問いかけるもの 第一章 第三世界から見た日本 1 世界のシステムの矛盾を見つめて/2 「あたりまえのこと」を夢見る 3 マゼランではなくラブラブの視点から/4 アジアは日本を必要としない 5 侵略を一人ひとりが直視せよ/6 日本と第三世界の平和的關係を求めて 7 軍服から背広へ/8 アジアの開発と人権 第二章 現状をのり越えるために 9 とともに生きる道をめざして/10 アジアの人々との相互理解と真の交流 11 海を越える「民際的：連帯」/12 世を変える宗教とは 13 アジアの隣人に仕える神学/14 クラベール司教のメッセージ 15 第三の道を求めて 第三章 解放の道をそなえて 16 南北問題におけるキリスト者の役割/17 激動のアジアにおける教会の役割 18 社会問題に取り組む神学/19 福音の社会的なかわり 20 現代社会における神学の役割/21 時のしるしを解明する神学 22 「解放の神学」と日本/23 解放の神学 24 解放の担い手となる共同体づくり/25 社会的靈性を求めて	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0191985X	-
---------	---	----	----------------------	--------	----	--------	------	--	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Amerman, James L		アメルマン		1843-1928			アメリカ・オランダ改革派教会 (プロテスタント)		アメリカ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00017	救拯学	単著	アメルマン 著、井深梶 之助 訳	明治学院	東京	1888.6	463p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一章 救拯ノ方法/1・ 第二章 救拯ノ方法一箇ノ契約トシテ論スベキ所以/6 ・ 第三章 此契約ニ関スル諸説/10・ 第四章 恩恵ノ契約ト行ノ契約ノ關係/16 ・ 第五章 恩恵ノ契約ノ相手ト條款/22・ 第六章 恩恵ノ契約ノ中保及保証人/33 ・ 第七章 恩恵ノ契約ノ時期/40・ 第八章 神子ノ成肉/51 ・ 第九章 キリストハ惟一ノ中保ナリ/83・ 第十章 中保ノ働/101 ・ 第十一章 キリストノ預言職/110・ 第十二章 キリストノ祭司職/125 ・ 第十三章 復和/148・ 第一 キリストノ死ハ贖罪ノ犠牲ナリ/152 ・ 第二 此犠牲ハ神人両性ヲ兼有シタル我儕ノ中保ガ自ラ甘ジテ献ゲタル者ナリ/161 ・ 第三 此犠牲ニ由リテキリストハ恩恵ノ契約ニ於テ父ト約束シタル事ヲ成就シ給ヘリ/163 ・ 第四 キリストハ此犠牲ニ由テ凡テ神ノ律法ト公義ガ人類ノ罪惡ニ対シテ要求スル処ヲ満足セシメタリ/165 ・ 第五 キリストノ苦難及ビ死ハ我儕罪人ニ代テ受タル者ナリ/100 ・ 第六 我儕ノ罪ハキリストニ歸セラリ/194 ・ 第七 キリストノ苦ト死ハ罪ノ刑罰ト同ニ非ズ之ニ匹敵スル耳/204 ・ 第八 キリストノ生涯ノ完全ナル從順ハ其中保ノ行ノ一部分ナリ/209 ・ 第九 キリストノ中保ノ行ト苦ハ我儕ヲ聖潔ニスル者ナリ/212 ・ 第十 キリストノ中保ノ行ハ完全ナリ/216 ・ 第十一 キリストノ中保ノ利福ハ福音ニ於テ凡ノ人ニ自由ニ与ヘラル/219 ・ 第十四章 諸説/223・ 第一 致命説/223 ・ 第二 キリストノ死ハ只其復活ニ必要ナル準備ニ過ギズトノ説/225 ・ 第三 キリストノ死ハ我儕ノ模範ナリトノ説/226 ・ 第四 キリストノ死ハ神ノ性徳ヲ顯ハサン為ナリトノ説/229 ・ 第五 キリストノ死ハ神ノ愛ヲ顯ハサン為ナリトノ説/230 ・ 第六 キリストハ終迄全ク神ノ命令ニ從ヒ之ニ由テ人ヲ救フノ權ヲ得タリトノ説/233 ・ 第七 モリス氏ノ説/236・ 第八 アルホルド氏ノ説/244 ・ 第九 ヨングブシネル氏等ノ説/246 ・ 第十 贖ハ神カ天地ヲ治ムルノ必要ニ応ゼンガ為ナル説/251 ・ 第十五章 キリストノ王職/275・ 第十六章 キリストノ謙卑/289 ・ 第十七章 キリストノ高擧/301・ 第十八章 聖靈人ニ救ヲ得セシムルノ行為/316 ・ 第十九章 受召/317・ 第二十章 更生/332・ 第二十一章 信仰/348 ・ 第二十二章 悔改/365・ 第二十三章 義トセラルル事/377 ・ 第二十四章 子ト為ル事/409・ 第二十五章 聖メラルル事/419 ・ 第二十六章 善行/443・ 第二十七章 聖徒ノ耐忍/449 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39145129	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824181

MB00018	有神論	単著	アメルマン 著、井深梶之助 訳	米国聖教書類会社	東京	1888.3	194p	・第一章 総論/1p・第二章 事物必ズ原因アルヲ以テ証トス/5p ・第三章 天地ノ秩序及和合ヲ以テ証トス/16p・第四章 経営論/34p ・第五章 進化論/75p・第六章 道徳論/117p・第七章 結末/166p	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13660019	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825282
MB00019	新約聖書神学	単著	アメルマン 著、井深梶之助 訳	明治学院	東京	1888.3	399p	・緒言 ・第一部 旧約ノ基礎・第二部 耶蘇基督ノ神学・総論/50p ・第一篇 概略福音ノ・第二篇 約翰伝福音書 ・第三篇 概略福音及ヒ約翰伝ニ記載スル基督ノ教ノ一致 ・第三部 使徒神学・総論/169p ・第一篇 使徒彼得ノ神学ノ・第二篇 使徒保羅ノ神学 ・第三篇 使徒約翰ノ神学ノ・第四部 高妙ナル一致	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14840548	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825519

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Arrieta, S. J		J. S. アリエタ		1921-2008		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00020	教会の神秘：第二バチカン公会議の『教会憲章』をめぐって	単著	J.S.アリエタ 著	中央出版社	東京	1971	343p	第一部 教会の神秘と三位一体との関係 第一章 父なる神との教会の関係/13 第二章 御子の派遣と教会に対する御子の役割/38 第三章 「ペンテコステの日に聖霊がつかわれ、教会を常に聖となす」/85 第二部 聖書に示される像による教会の神秘表現 第四章 現代神学における教会の神秘表現/143 第五章 第二バチカン公会議の『教会憲章』に現われる聖書の像による教会の神秘表現/176 第六章 新約の神の民である教会/212 第七章 救いの普遍的秘跡である教会/249 第三部 “Credo Ecclesiam” 第八章 われらの信仰の対象としての教会の神秘	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13817358	-
MB00021	公会議と教会一致 [第1輯]	論文著者	聖心女子大学カトリック文化研究所 編	理想社	東京	1964	231p	現代に生きる教会(長江恵)/ 第二バチカン公会議の経過と展望(沢田和夫) 公会議と聖霊の御助け(J.S.アリエタ) 日本における教会一致と宣教の原理(粕谷甲一) 「教会の外に救いはない」の反省(角田信三郎) /公会議と日本の布教(安斎伸) トレントの教会会議(沢田昭夫)/ 第一バチカン教会会議(沢田昭夫)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01533896	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940333

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Albrecht, George Eugene		アルブレクト		1855-1906		ドイツ・改革派教会 (プロテスタント)		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00023	基督の無比無類なる点	単著	ヂョルヂ・イー・アルブレクト 著	警醒社	東京	1902.3	29p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA76840647	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824395
MB00024	三福音書論	単著	ジー・イー・アルブレクト 述	警醒社	東京	1891.10	79p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45495759	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825486

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Arrupé, Pedro		ペトロ・アルペ		1907-1991		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00025	キリストの横顔	単著	ペトロ・アルペ 著	ドン・ボスコ社	東京	1952年初版、1969年改訂版、2004年新訂・初版	302p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序/p1 ・ 第一篇 キリストの人性・第一章 高貴なる容姿/p11 ・ 第二章 愛に溢れた眼眸/p22・第三章 權威ある聲/p30 ・ 第四章 調和した人格/p37・第五章 感情と情緒/p41 ・ 第六章 理性と智慧/p55・第七章 意志と行動/p67 ・ 第八章 慈愛の人/p80・第二篇 キリストの徳と思想 ・ 第一章 キリストの印象/p105・第二章 イエズスの教義/p124 ・ 第三章 神の國/p148・第四章 完徳の模範/p161 ・ 第三篇 キリストの神性・第一章 ゲッセマニの園/p178 ・ 第二章 受難/p192・第三章 敗残者キリスト/p219 ・ 第四章 奇蹟中の奇蹟/p227・第五章 豫言の實現/p245 ・ 第六章 十字架の奧義/p253・第七章 カルワリオの道/p268 ・ 結 永遠の人/p278・註/p287 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04457808	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2967953
MB00026	キリストの道 第5巻 (第二週 (ハ) 公生活)	単著	ペトロ・アルペ 著	中央出版社	東京	1954	387p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一部 ・ 第一観想 イエズスの洗禮/p7・第二観想 洗者聖ヨハネ/p23 ・ 第三観想 荒野の誘惑/p39・第四観想 最初の使徒/p55 ・ 第五観想 カナの婚筵/p72・第六観想 神殿のきよめ/p90 ・ 第七観想 ニコデモとの談話/p106・第八観想 サマリアの婦人/p122 ・ 第九観想 活ける水 (反復) /p144・第十観想 奇蹟的な漁り/p163 ・ 第十一観想 山上の垂訓/p181・真福八端/p195 ・ 第十二観想 心の貧しき人/p197・第十三観想 柔和なる人/p202 ・ 第十四観想 泣く人/p209・第十五観想 義に飢え渴く人/p216 ・ 第十六観想 慈悲ある人/p221・第十七観想 心の潔き人/p229 ・ 第十八観想 和睦せしむるもの/p237・第十九観想 迫害を忍ぶ人/p243 ・ 第二十観想 イエズス麩をふやし給う/p252 ・ 第二十一観想 イエズス水上を歩み給う/p271 ・ 第二十二観想 イエズスの御變容/p285・第二十三観想 マルタとマリア/p306 ・ 第二十四観想 ラザルの復活/p320 ・ 第二部 ・ 疑悩についての注意/p343 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45951971	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3022019
MB00027	キリストの道 第4巻 (第二週 (ロ) 生活の改善)	単著	ペトロ・アルペ 著	中央出版社	東京	1953	322p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序論/p5 ・ 第一部 ・ 第一観想 二つの旗/p17・第二観想 勝利と敗負/p36 ・ 第三観想 悪魔の綱 (一) /p44・第四観想 悪魔の綱 (二) /p51 ・ 第五観想 キリストの精神/p64・第六観想 御旗の兵士/p83 ・ 第七観想 三様の人/p92・第八観想 謙遜の三階梯の考察/p113 ・ 第九観想 大三階梯の謙遜/p124・第十観想 生活改善の奉獻/p138 ・ 第二部 ・ 生路選定/p151・誤まりのないよい選定をなす三時機/p172 ・ 生活改善/p192・第二週の靈動辨別の規定/p206 ・ 準備期間における誘惑/p262・要約 ・ 第一観想 二つの旗/p285・第二観想 勝利と敗北/p291 ・ 第三観想 悪魔の綱 (一) /p294・第四観想 悪魔の綱 (二) /p297 ・ 第五観想 キリストの精神/p298・第六観想 御旗の兵士/p305 ・ 第七観想 三様の人/p308・原註/p314 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45951621	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3022018

MB00028	キリストの道 第3 (第2週(イ)キリストの国)	単著	ペトロ・アルペ 著	中央出版社	東京	1952	447p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序論/p3 ・ 第一部 ・ キリストの國序説/p17 ・ 第一觀想 キリストの國 (一) /p23・ 第二觀想 キリストの國 (二) /p39 ・ 第三觀想 キリストの國 (三) /p55・ 第四觀想 キリストの國 (四) /p71 ・ キリストの觀想序説/p89・ 第五觀想 御託身/p96 ・ 第六觀想 御降誕/p106・ 第七觀想 御託身及び御降誕 (反復) /p116 ・ 第八觀想 御託身 (五官の活用) /p128 ・ 第九觀想 御降誕に於ける天子と羊飼/p140 ・ 第十觀想 御降誕 (五官の活用) /p155 ・ 第十一觀想 聖母の御潔めとイエズスの奉獻/p174 ・ 第十二觀想 東方の博士達の參拜/p191・ 第十三觀想 エチプトへの避難/p206 ・ 第十四觀想 ナザレトに於ける私生活/p218 ・ 第十五觀想 ナザレトに於ける私生活 (反復) /p234 ・ 第十六觀想 ナザレトに於ける私生活 (五官の活用) /p245 ・ 第十七觀想 イエズス神殿に留まり結ぶ/p265 ・ 第二部 ・ 五官の活用に就いて/p287・ 靈動辨別の規定/p297 ・ 第一週の靈的辨別の規定/p306・ 要約 (第一部の默想の要約である) /p365 ・ 第一觀想 キリストの國 (一) /p367・ 第二觀想 キリストの國 (二) /p371 ・ 第三觀想 キリストの國 (三) /p375・ 第四觀想 キリストの國 (四) /p381 ・ 第五觀想 御託身/p385・ 第六觀想 御降誕/p388 ・ 第七觀想 御託身と御降誕 (反復) /p390 ・ 第八觀想 御託身 (五官の活用) /p394 ・ 第九觀想 御降誕に於ける天使と羊飼/p397 ・ 第十觀想 御降誕 (五官の活用) /p402 ・ 第十一觀想 聖母の御潔めとイエズスの奉獻/p407 ・ 第十二觀想 東北の博士達の參拜/p412・ 第十三觀想 エチプトへの避難/p416 ・ 第十四觀想 ナザレトに於ける私生活/p420 ・ 第十五觀想 ナザレトに於ける私生活 (反復) /p424 ・ 第十六觀想 ナザレトに於ける私生活 (五官の活用) /p426 ・ 第十七觀想 イエズス神殿に留り給ふ/p432・ 原註/p437 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45951009	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3022017
---------	--	----	-----------	-------	----	------	------	---	---	---

MB00029	キリストの道 第2巻 (罪のきよめ)	単著	ペトロ・アルペ 著	中央出版社	東京	1950	553p	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしがき/p1 ・ 第一部 ・ 「原理と基礎」より第一週へ/p11・ 第一靈操 罪の一般的考察/p15 ・ 第二靈操 己が罪に就いて/p29 ・ 第三靈操 靈魂浄化の三對話 (反復) /p47 ・ 第四靈操 聴括/p60・ 第五靈操 地獄に就いて/p73 ・ 第六靈操 罪の考察 (第一靈操の反復) /p97 ・ 第七靈操 己が罪に就いて (第二靈操の反復) /p120 ・ 第八靈操 世俗に就いて (第三靈操の反復) /p138 ・ 第九靈操 小罪の克服 (第四靈操の反復) /p184 ・ 第十靈操 地獄に就いて (第五靈操の反復) /p166 ・ 附 ・ 第一 聖時間/p189・ 第二 地獄の歸り道/p205 ・ 第三 死に就いて (一) /p220・ 第四 死に就いて (二) /p237 ・ 第五 ミサに就いて (特にミサに於ける救いと憐み) /p254 ・ 第六 天主の憐み/p272・ 第七 大自然に憩ふ/p292 ・ 第二部 ・ 總註/p305・ 附則/p341・ 反省/p373 ・ 第一章 反省の精神に就いて/p373 ・ 第一節 決定の規準となるものに就いて/p376 ・ 第二節 反省による靈的成果/p383 ・ 第二章 一般的糺明/p387・ 第一節 糺明をなす時刻に就いて/p392 ・ 第二節 糺明の場所に就いて/p394 ・ 第三節 糺明の方法及び順序/p395 ・ 第三章 特別糺明/p404・ 第一節 特別糺明の題目に就いて/p408 ・ 第二節 特別糺明の規定/p414・ 第三節 特別糺明の方法/p415 ・ 第四節 一つの題目に當つべき期間/p419 ・ 第五節 特別糺明に失敗する理由/p420 ・ 祈祷/p424 ・ 第一章 念禱の容易なること/p432・ 第二章 念禱の必要/p434 ・ 第三章 念禱の稔り/p439・ 第四章 念禱の困難に就いて/p448 ・ 第五章 祈祷の三方法/p458・ 第一節 祈祷の第一方法に就いて/p461 ・ 第二節 祈祷の第二方法に就いて/p468 ・ 第三節 祈祷の第三方法に就いて/p473 ・ 要約/p477・ 原註/p541 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45576602	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936353
MB00030	若き世代に与う：人生案内	単著	ペトロ・アルペ 著	春秋社	東京	1950	210p	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしがき ・ 第一信 懐疑の悩み/p3・ 第二信 祈り/p11 ・ 第三信 ディレクタントの濫讀/p16 ・ 第四信 能わざるに非ず、爲さざるなり/p19 ・ 第五信 神父とは/p21・ 第六信 キリストは偉人か神か/p23 ・ 第七信 信仰と生活/p29・ 第八信 信仰の本質/p33 ・ 第九信 敵の煙幕/p39・ 第一〇信 讀書について/p42 ・ 第一一信 外國語の習得法/p50・ 第一二信 洗禮への逡巡/p57 ・ 第一三信 奇蹟はあり得るか?/p59・ 第一四信 ルルドの目撃者/p65 ・ 第一五信 信仰生活と時間/p71・ 第一六信 無教會/p77 ・ 第一七信 新教と舊教/p84・ 第一八信 預言者マルクス/p91 ・ 第一九信 共産黨と家族/p103・ 第二〇信 短所の匡正/p111 ・ 第二一信 信仰と勉強/p118・ 第二二信 修道と世俗生活/p123 ・ 第二三信 聖召とは何か/p127・ 第二四信 聖職者の意義/p131 ・ 第二五信 七つの道/p136・ 第二六信 両親と聖召/p141 ・ 第二七信 躰き/p147・ 第二八信 友/p154 ・ 第二九信 戀愛/p159・ 第三〇信 結婚/p164 ・ 第三一信 洗禮への畏怖/p171・ 第三二信 信仰生活の要訣/p176 ・ 第三三信 カトリック學生連盟/p183 ・ 第三四信 學生と布教活動/p192・ 第三五信 愛/p200 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04822470	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2938824

MB00031	聖フランシスコ・デ・サビエル	単著	ペトロ・アルベ 著	春秋社	東京	1949	272p	<ul style="list-style-type: none"> ・ まへがき ・ 第一部 ・ 1 第十六世紀/5・ 2 ナワラ/11・ 3 パリ/16 ・ 4 プロテスタント運動/23・ 5 イグナチオ・デ・ロヨラ/26 ・ 6 マギステル・フランシスコ/39・ 7 靈操/46 ・ 8 キリストの戦士/69・ 9 使徒/77 ・ 第二部 ・ 1 艱苦/85・ 2 組織/98・ 3 使徒/112 ・ 4 東洋/126・ 5 日本/142・ 6 大成/163 ・ 第三部 ・ 1 人々の印象/187・ (イ) 外貌/188・ (ロ) 人格/189 ・ 2 自然と超自然/193・ (イ) 願望/194・ (ロ) 不偏の心/198 ・ (ハ) 勇氣/201・ (ニ) 愛情/206・ (ホ) 明朗/209 ・ (ヘ) 活動性/211・ (ト) 率直/216・ (チ) 順應性/218 ・ 3 時代と環境/223・ 4 イグナチオとサビエルとの一致/226 ・ (イ) 活動と観想/227・ (ロ) 祈りの生活/230 ・ (ハ) 従順/232・ (ニ) 謙遜/236・ (ホ) 手段/238 ・ (ヘ) カトリシズム/239・ (ト) 愛/243・ (チ) 靈的指導者/247 ・ 5 歸歐命令/252・ 結尾/259・ 索引・ サビエルの参考書 	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1160818
MB00032	キリストの道 第1(原理と基礎)	単著	ペトロ・アルベ 著	中央出版社	東京	1949	271p	<ul style="list-style-type: none"> 序/p1 ・ 第一観想 靈的生活へ入る道/p19・ 第二観想 完徳への望み/p27 ・ 第三観想 靈操への心構へ/p39・ 第四観想 聖寵を求めて/p47 ・ 第五観想 靈の神殿/p54・ 第六観想 人間の本質/p67 ・ 第七観想 創造者と人間/p80・ 第八観想 人生の意味/p93 ・ 第九観想 神に對する立場/p109・ 第十観想 人間の目的/p119 ・ 第十一観想 被造物の意味/p135 ・ 第十二観想 被造物の用ひ方/p147 ・ 第十三観想 ミサ聖祭/p157・ 第十四観想 不偏心 (一) /p171 ・ 第十五観想 不偏心 (二) /p188 ・ 第十六観想 よりよく達せしめるもの/p199 ・ 第十七観想 踐むべき道/p210・ 第十八観想 天國の幸ひ/p228 ・ 第十九観想 主禱文/p234・ 第二十観想 理想とその實現/p246 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45575122	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936352
MB00033	共産主義の実相	単著	ペトロ・アルベ 著	ドン・ボスコ社	東京	1948	114p	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしがき/7p ・ 序説/9p ・ 第一章 共産主義の歴史/17p・ 第一節 昔の共産の思想/18p ・ 第二節 近代社會主義の起因/22p・ 第三節 近代社會主義の先驅者/28p ・ 第四節 マルクスの社會主義理論/31p・ A 方法/32p・ B 内容/33p ・ 第五節 レーニン/35p・ 第二章 共産主義世界觀/40p ・ 第一節 平等/41p・ 第二節 所有權否定/44p・ 第三節 自由/47p ・ A 恐怖/50p・ B 強制/51p ・ 第四節 自由主義とボルシェイヴズム/52p ・ 第五節 價值論とその批判/56p・ A 價值論/57p・ B 批判/61p ・ 第六節 集積論/66p・ 第七節 階級闘争/68p ・ 第八節 共産主義と教育/74p・ 第九節 共産主義と家庭/93p ・ 附録一 共産黨の戦術/98p・ 二 日本での戦法/108p 	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA47848361	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1061975

MB00034	箴言集	編訳	フランシスコ・デ・サビエル 著、ペトロ・アルベ 編訳	エンデルレ書店	東京	1949	175p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序/p5 ・ 第一部 ・ 不完全なことに對する油断が、如何に完徳を破壊するかを思へ/p13 ・ 私の忠告を、たびたび繰返して讀んで頂きたい/p17 ・ すべては、謙遜の徳によつて達成し得るものである/p40 ・ 布教に當つては、従順の聖徳が備つてなければならぬ/p59 ・ もつと、もつと澤山/p63 ・ 神を味ははしないで生きてゐることは、生命ではなく、死にすぎない/p73 ・ 神にのみ絶対の信頼を置き、すべての力、すべての希望を神に委ね/p77 ・ 隣人の靈魂の救ひを、自分の生命よりも愛する/p88 ・ 願はくば、神が臨終に當り、喜びとなることを悟る恵みを、與へ給はんことを/p94 ・ イエズス會とは、愛と同心の修道會といふ意味である/p100 ・ 日本に就いては書くことがまだ山程あつて、遅しがない/p115 ・ 第二部 ・ 働く者は少し/p129・ 汝もし神の賜物を知らば/p132 ・ 家令たりし時の會計を差し出せ/p135 ・ 我がために魂を夫ふ人はこれを得べし/p138 ・ 福なるかな泣く人、彼等は慰めらるべければなり/p142 ・ エルザレムよ（イエズス會よ）我もし汝を忘れなば、我が右の手は萎えよかし/p144 ・ そは我が負はする軛は快く、荷は輕ければなり/p149 ・ 神の寵より、我等を離し得るものなし/p153 ・ その父母・妻子・兄弟・姉妹・己が生命までも憎むに非ざれば、我が弟子たること能はず/p167 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA41528710	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939753
MB00035	愛の生ける炎	共訳	十字架の聖ヨハネ 著、ペドロ・アルベ、井上郁二 共訳、山口・女子カメル会 改訳	ドン・ボスコ社	東京	1985.4	206p	<ul style="list-style-type: none"> 序/3 第一の歌/7、第二の歌/57、第三の歌/99、第四の歌/187 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05568112	-
MB00036	靈魂の暗夜愛の活ける焔	共訳	十字架の聖ヨハネ 著、ペドロ・アルベ、井上郁二 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1954	282p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 靈魂の暗夜・解説/p1・ 受動の夜/p4・ 緒言/p4・ 靈魂の歌/p5 ・ 神との愛の一致の道に於ける靈魂の様式及び方法を述べた歌の説明の開始/p8 ・ 第一篇 感覺の（受動的）暗夜を論ず/p11・ 解説/p11 ・ 第一章 第一節の解説、並びに、初心者之不完全に就いて論じ始むること/p13 ・ 第二章 傲慢の習性に関して、初心者が持つてゐる幾つかの靈的不完全について/p15 ・ 第三章 これらの人々の或る者達が、第二の罪源たる靈的貪慾に關して持つてゐるのを常とする幾つかの不完全に就いて/p20 ・ 第四章 これらの初心者が持つてゐるのを常とする、その他の不完全である第三の罪源たる邪淫に就いて/p22 ・ 第五章 憤怒の惡徳に關して、初心者之陥る不完全に就いて/p26 ・ 第六章 靈的貪食に關する不完全に就いて/p28 ・ 第七章 靈的な嫉妬並びに怠惰に關する不完全について/p32 ・ 第八章 歌の第一節第一句の解明、並びに暗夜の説明を始むること/p34 ・ 第九章 靈的な人がこの夜と感覺の淨化との道を進んでゐることを、了解する印に就いて/p37 ・ 第十章 この暗夜に於て、これらの人々の取るべき態度に就いて/p42 ・ 第十一章 歌の三つの句の解説/p45 ・ 第十二章 この夜が靈魂に生ぜしめる利益に就いて/p48 ・ 第十三章 この感覺の夜が靈魂に惹き起す他の諸利益に就いて/p54 ・ 第十四章 第一の歌の最後の句の解説/p59 ・ 第二篇 靈の（受動的）暗夜について/p65 ・ 第一章 靈の暗夜を論じ始むること、いつそれが始まるかについて/p65 ・ 第二章 これらの進歩した人々の有する他の不完全についての續き/p67 ・ 第三章 これより後のことのための註解/p69 ・ 第四章 第一の歌とその説明/p71 ・ 第五章 歌の第一節のこと、並びに何が故にこの暗黒の觀想が靈魂にとつて夜であるのみならず、更にまた苦痛と拷問とであるのかに就いての説明を始むること/p73 	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940185

								<ul style="list-style-type: none"> 第六章 この夜にあたつて靈魂が悩む苦痛の他の様式について/p77 第七章 意志の他の苦悩と窮迫との同じ論題についての繼承/p80 第八章 この段階に於て靈魂を悩ます他の苦痛に就いて/p86 第九章 この夜は靈を暗くするものではあるが、如何にそれを照し、光を與えるものであるかに就いて/p89 第十章 この淨化の比喻による根源的解明/p95 第十一章 第一の歌の第二節の解説を始めること—あのような峻烈な窮迫の結實を通じ、如何に靈魂は神的爱の激しい熱情のもとに居るかについて/p100 第十二章 この怖るべき夜が如何に煉獄であるか、また神の觀智は、天上の天使達を淨化し照し給うその同じ照しを以て、如何に地上の人間を照し給うかに就いて/p104 第十三章 觀想の暗夜が靈魂の中に行う他の快適な結果について/p107 第十四章 第一の歌の最後の二句の掲田並びに説明/p114 第十五章 第二の歌とその説明/p116 第十六章 靈魂は暗黒に於て如何に安全に行くかの説明/p117 第十七章 暗黒の觀智が如何に秘密であるかの説明/p125 第十八章 この秘密の觀智がまた如何に「様子」であるかの説明/p130 第十九章 聖ベルナルドと聖トマスに従い神的爱の神秘の様子の十階梯を説明し始めること、—最初の五階梯について/p132 第二十章 愛の他の五つの階梯のこと/p137 第二十一章 「變装して」という語の説明、並びにこの夜に於ける靈魂の色彩について/p140 第二十二章 第二の歌の第三句の説明/p145 第二十三章 第四句の説明—この夜に於て、靈魂が置かれる驚嘆すべき隠れ家のこと、並びに惡魔は他の崇高な場所へは侵入することが出来ても、ここへは這入らないことに就いて/p146 第二十四章 第二の歌の説明を終ること/p153 		
MB00037	カルメル山登攀	共訳	十字架の聖ヨハネ 著、 ペドロ・アルベ、井上郁 二 共訳	ドン・ボスコ社	東京	1953	370p	<ul style="list-style-type: none"> 譯者序/p1・本書の概要/p5 完徳に達する様式/p9・十字架の聖ヨハネの客傳/p11・面影/p27 カルメル山登攀の要旨/p29・歌/p30・緒言/p33 第一篇 感覺の主動的夜/p39・第二篇 靈の主動的夜/p91 第三篇 靈の主動的夜/p247 註/p369・あとがき/p370 	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA35476281	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2971436

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Armbruster, Ludwig		アルムブルスター		1928-		カトリック・イエズス会		チェコ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00038	黄金のプラハから来たイエズス会士	単著	ルドヴィーク・アルムブルスター 著、アレシュ・パラーン インタビュー、羽生真名 訳	教友社	習志野	2015.5	295p	第1章 八十一番目の漢字/7、第2章 ヘブライ語の聖書とアドルノ/41 第3章 見取りを覚えなさい/56、第4章 見渡す限り虚無だけが/83 第5章 空襲警報の響く街で/103、第6章 手を鋤に置いて/123 第7章 路面電車のエスコート/142、第8章 雄羊は柵を跳び越える/162 第9章 鉄の船窓を開めろ/181、第10章 大学紛争と神学院内の紛/195 第11章 図書館という不思議な世界/214、第12章 宗教がカルトか/230 第13章 イワンよ、恥ずかしくないのか/241 第14章 隙間の神でなく/258、第15章 ミネルヴァの泉/278	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB19057649	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Andrews, Walter		アンドリウス		1854-1932		英国聖公会海外宣教師協会		イギリス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00039	真神讃美歌	不明	アンドリウス	日本基督監督教会 発行	不明	1882	100曲 の歌詞 のみ	明治期讃美歌・聖歌集成 第33巻所収	-	-

MB00040	説教集	単著	ウオーター・アンドリウ ス 著、堀田達治 編	教文館	東京	1902.12	547p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一 生命の樹 創三〇二十四、黙二〇七/1・ 二 汝は何処に居るや 創三〇九/14 ・ 三 ノアの方舟 創七〇-/19・ 四 契約の徴 創九〇十二、十三/24 ・ 五 ソドムの滅亡 創十九〇十二-十四/28 ・ 六 天に達する梯子 創二十八〇十一-二十二/32 ・ 七 十分の一献金 創二十八〇二十二/36 ・ 八 自ら光を発つを知らず 出三十四〇二十九/40 ・ 九 忘恩 申三十二〇六/44・ 十 我尔に伝ふべき事あり 士三〇二十/48 ・ 十一 サムソンと稚き獅子 士十四〇五-九/52 ・ 十二 信仰の退歩 士十六〇二十後半/66 ・ 十三 神の言の声を聞け 母上十五〇-/78 ・ 十四 ヤベツの祈り 代上四〇九-十一/82 ・ 十五 エホバを待望め 詩二十七〇十四/86 ・ 十六 新年 詩六十五〇十一、詩百三〇四/91 ・ 十七 神の訓諭と栄光 詩七十三〇廿四/97 ・ 十八 霊のわな 詩百二十四〇七/112 ・ 十九 エリヤとイエス 王下二〇十一/117 ・ 二十 ハブテスマのヨハネ 賽五十七〇十五/134 ・ 廿一 枯骨の異象 結三十七〇一-十/150 ・ 廿二 汝なんぞ酣睡するや 拿一〇六/161 ・ 廿三 主の道を備へよ 太三〇三/165 ・ 廿四 天に在ます我儕の父よ 太六〇九/170 ・ 廿五 天に財を蓄ふべし 太六〇九/174 ・ 廿六 人は二人の主に事ること能ず 太六〇廿四/178 ・ 廿七 天国 太八〇十一/198・ 廿八 二人の替者 太九〇廿九/216 ・ 廿九 我に学べ 太十一〇廿九/221・ 三十 末日の審判 太十三〇廿四、廿五/235 ・ 卅一 一人我を売すなり 太廿六〇二十一/239 ・ 卅二 万国の民を救よ 太二十八〇十九/243 ・ 卅三 人を漁る者 可一〇十七/247・ 卅四 罪の赦を信ずること 可二〇五/250 ・ 卅五 懇求 可二〇五/254・ 卅六 レギオンを逐出し給ふ 路八〇廿六-卅六/258 ・ 卅七 ガダラ人とレギオンの人 路八〇三十四以下/262 ・ 卅八 之に聴べし 路九〇三十五/266・ 卅九 確定たり 路九〇五十一/272 ・ 四十 友よ首座に坐れ 路十四〇十/277 ・ 四十一 尚余の座あり 路十四〇二十二/282 ・ 四十二 一の失へる羊 路十五〇一-七/286 ・ 四十三 来りて見よ 約一〇四十八/290・ 四十四 新生 約三〇三、約三〇七/294 ・ 四十五 ベテスタ池畔の病者 約五〇六/308 ・ 四十六 証をなす事 約五〇十五/312・ 四十七 聖書に就て 約五〇卅九/316 ・ 四十八 聖書を研究せよ 約五〇卅九/320 ・ 四十九 イスエの前に於ける奸淫婦人 約八〇七/331 ・ 五十 イエスラザロを甦らしたまふ 約十二〇三/340 ・ 五十一 尔これらの者に過て我を愛するや 約廿一〇十五/348 ・ 五十二 聖霊に充たさる 徒二〇一-七/362 ・ 五十三 聖霊の力 徒四〇三十一/366・ 五十四 三種の家 徒十二〇五/369 ・ 五十五 皆救はれて岸に登れり 徒二十七〇四十四/374 ・ 五十六 聖霊の殿 哥前六〇十九/380・ 五十七 霊の磐 哥前十〇四/383 ・ 五十八 主の工 哥前十五〇五十八/387 ・ 五十九 大将キリストの命令 哥前十六〇十三/391 ・ 六十 一切の物の上の首 弗一〇二十二/395 ・ 六十一 聖パウロの実例 腓三〇十三、十四/409 ・ 六十二 年暮 腓一〇二十一/426・ 六十三 時間 彼後三〇八/436 ・ 六十四 神の愛 約壹三〇-/452・ 六十五 全能者 黙一〇八/456 ・ 六十六 スムルナの教会 黙二〇八/460 ・ 六十七 汝死に至るまで忠信なれ 黙二〇十/466 ・ 六十八 新しき天 黙廿一〇-/469・ 六十九 懼る勿れ 王下六〇十六/473 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39254022	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824806
---------	-----	----	---------------------------	-----	----	---------	------	---	---	---

									<ul style="list-style-type: none"> ・七十 栄光ある予言者皆王を讃美たてまつる 土上十七〇一-六/478 ・七十一 精神の医師 約十四〇一/492 ・七十二 遠き国より来る好き消息 箴二十五〇二十五/496 ・七十三 真理を買へ 箴二十三〇二十三/509 ・七十四 播くことと刈ること 詩百二十六〇六/523 ・七十五 光を擁ふ斗 可四〇廿一/529 		
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Ibañez, Placido		ブラチド・イバニエス			1934-		カトリック・イエズス会		スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00041	修道生活の未来：今こそ目覚めるとき	単著	ブラチド・イバニエス 著	ドン・ボスコ社	東京	2006.4	196、2p	はじめに/5 祈りへの準備 修道生活への問いかけと答え/9 I 第一の祈り 修道生活の生き方とその起源/29 II 第二の祈り 現代の修道生活における危機とその原因/67 III 第三の祈り 修道生活の未来/127 おわりに 修道生活に未来はあるか/187	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA77400195	-
MB00042	イエスとの友情：祈りの成長の体験	単著	ブラチド・イバニエス 著	ドン・ボスコ社	東京	2005.2	217p	はじめに/7 祈りへのヒント/15 1 主よ、自由を通して神に慰められる/31 2 主よ、自由になりたいのです/47 3 荒野は私たちの清めへの招き/61 4 主よ、あなたこそ私たちの清め/75 5 主よ、あなたの愛に応えたいのです/91 6 主よ、あなたをもっと知りたいのです/105 7 主よ、あなたの生き方と知恵を学びたいのです/119 8 主よ、あなたの前で、ただ、たたずんでいます/131 9 主よ、あなたのご受難に私の受難を結んでください/143 10 主よ、あなたの死にあずかりたいのです/153 11 主よ、復活の新しい慰めと喜びをともに体験したいのです/165 12 主よ、あなたといっしょであれば老いることも楽しい/179 13 主よ、あなたに自己を献げたいのです/193 14 主よ、あなたの愛にとどまりたいのです/205	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73532649	-
MB00043	黙想どろぼうの日記 2	講述	イバニエス 述、町田泰三 著	ドン・ボスコ社	東京	1996.11	253p	導入/9 第一ステップ 神の愛と人間の拒否(罪)/37 第二ステップ イエズスの生涯の観想/77 第三ステップ イエズスの特別な「時」(受難と死)/153 第四ステップ 復活されたキリスト/201 霊操最後の祈り/243	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15818850	-
MB00044	黙想どろぼうの日記：イバニエス神父のミサに参加して	講述	イバニエス 述、町田泰三 著	ドン・ボスコ社	東京	1995.6	71p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13847756	-
MB00045	暗夜に輝く星：シノドス以後の奉献生活をめぐって	単著	ブラチド・イバニエス 著	ドン・ボスコ社	東京	1995.6	255p	序章/9 第一章 修道生活の特有の意義/15 第二章 愛の絆/107 第三章 修道生活の養成の問題点/145 第四章 現代の修道生活における院長の役割/213	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN1331519X	-
MB00046	恵みを貫くもの：奉献生活の明日に向かって	単著	ブラチド・イバニエス 著	ドン・ボスコ社	東京	1992.11	272p	序章/9 第一章 修道生活と現代の神学の紹介/17 第二章 修道生活の起源—キリストの思い出/37 第三章 歴史における修道生活の展開とその神学的裏づけ/65 第四章 現在の神学から見た修道生活/123 第五章 この世と教会における修道生活—神の国への奉仕/197	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10219575	-

MB00047	祈りの道：祈りの体験の過程	単著	ブラチド・イバニエス 著	中央出版社	東京	1981.7	326p	序章／13 第一章 み言葉を通してイエズスに出会う体験／41 第二章 祈りの過程における浄化の体験／89 第三章 内的深化の体験／141 第四章 愛なる神（三位一体）との交わりの体験／223	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45886461	-
MB00048	祈りと生活：キリスト者の日々の体験の中で	単著	ブラチド・イバニエス 著	中央出版社	東京	1979.6	266p	序章 キリスト者の祈りに関するいくつかの問題／9 第一章 信仰体験の現われとしての祈り／33 第二章 祈りは心に根ざしている／81 第三章 イエズスの祈りとキリスト者の祈り／131 第四章 キリスト教的な生活と祈りを支える態度／193 第五章 祈りと生活の統一性／227	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04440816	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Eby, Charles Samuel		チャールズ・サミュエル・イビー		1845-1925			カナダ・メソヂスト教会（プロテスタント）		カナダ	
目録番号	書名（別タイトル）	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ（NDL）
MB00049	社会及政治ニ於ル基督教ノ勢力	単著	シー・エス・イビー 著	丸善	東京	1887.8	60p		-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824507

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Imbrie, William M.		ウィリヤム・インブリー		1845-1925			カナダ・メソヂスト教会（プロテスタント）		カナダ	
目録番号	書名（別タイトル）	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ（NDL）
MB00050	大なる法と大なる真	単著	ウィリヤム・インブリー 著	基督教書類会社	東京	1903.8	36p		-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824092
MB00051	基督教信仰要義	単著	ウィリヤム・インブリー 著	教文館	東京	1913	44、19p	緒言／1、基督教と他宗教／4、啓示／5、神／7、神と宇宙／8 神と人／10、イエス、キリスト／15、福音／20 基督教と社会／23、来らんとする世界／27 基督教の処世の規律／29、附録／35	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA86899726	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/912478
MB00052	基督を何と思ふや	単著	ウィリヤム・インブリー 著	基督教書類会社	東京	1902.3	29p		-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824231
MB00053	基督略伝	単著	ウィリヤム・インブリー 著	基督教書類会社	東京	1902.3	34p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA48459489	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824400
MB00054	天の門	単著	ウィリヤム・インブリー 著	基督教書類会社	東京	1901.11	20p		-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824902
MB00055	古井の傍	単著	ウィリヤム・インブリー 著	基督教書類会社	東京	1901.11	31p		-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825116

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Immoos, Thomas		トマス・インモース		1918- 2001			カトリック・ベトレヘム宣教会		スイス	
目録番号	書名（別タイトル）	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ（NDL）
MB00056	深い泉の国「日本」：異文化との出会い	共著	トマス・インモース、加藤 藤 著	中央公論新社	東京	1999.2	239p	Part 1 西の国、東の国／11 トマス・インモースという人物／12、ユング研究家の誕生／37 日本文化との出会い／70、Part 2 化石の国、日本／97、日本文化の特色／98 能、その世界性／110、Part 3 誤解とコミュニケーション／131 異文化間の理解と誤解／132、誤解は克服できるか／159 宗教的伝統のこと／181、Part 4 異郷で生きる／187 選択と犠牲／188、自分自身への旅／200 おわりに／209	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39909846	-

MB00057	ファウストとドイツ精神	単著		民主教育協会	東京	1968	61p	原型としてのファウスト/1、ファウスト伝説の歴史/7 ゲーテの『ファスト』/13、ファウスト的イデオロギー闘争/44 ファウスト弾劾/54	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13834481	-
MB00058	ヨーロッパ心の旅：異文化への道しるべ	共著	トマス・インモース、加藤恭子 著	原書房	東京	1995.7	242p	まえがき /i 第1章 ヨーロッパ統一の基盤/1、第2章 東西の交流/33 第3章 秘教の伝統/59、第4章 寓意画/113 第5章 弁論術の伝統/149、第6章 現代のヨーロッパ/171 第7章 わが故郷ヨーロッパ/217	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13066867	-
MB00059	スイスの民主主義 IDE教育選書 137	単著	T.インモース 著	民主教育協会	東京	1969.6	50p	・スイスの国家精神/1・直接民主主義/7 ・スイスにおける民主主義の伝統/26・ベスタロッチとスイス/39	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13275878	-
MB00060	現代カトリック作家	単著	T.インモース 著	中央出版社	東京	1964	124p	序論/1 グレアム・グリーン/13、エヴリン・ウォー/25 ブルース・マーシャル/33、G・K・チェスタートン/41 H・ベロック/51、E・シトウェル/61、W・ベルゲンリユーン/73 E・シャーペル/83、R・シュナイダー/95 ゲルトルート・フォン・ル・フォール/105、S・アンドレス/117	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA76082855	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1336901

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Wilkes, Paget		パゼット・ウイルクス		1871-1934		英国聖公会		イギリス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00061	創世記講演	単著	パゼット・ウイルクス 述、大江邦治 編	日曜世界社	大阪	1925	430、 48p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回 創世記総論/1・ 第二回 創造の始め 第一章/9 ・ 第三回 人類の始め 第二章/16・ 第四回 罪の始め 第三章/26 ・ 第五回 宗教の始め 第四章/35 ・ 第六回 社会の始め 第四章十六節～第五章/45 ・ 第七回 審判の始め (大洪水の前) 第六章/54 ・ 第八回 救の始め (大洪水の間) 第七章/64 ・ 第九回 回復の始め (大洪水の後) 第八章～第九章七節/73 ・ 第十回 契約の始め 第九章八節～廿九節/82 ・ 第十一回 国民の始め 第十章/93・ 第十二回 同盟の始め 第十一章/102 ・ 第十三回 アブラムの召 第十二章/114 ・ 第十四回 アブラムの撰擇 第十三章/122 ・ 第十五回 アブラムの性質の試み 第十四章/127 ・ 第十六回 アブラムの契約の恵 第十五章/136 ・ 第十七回 アブラムの信仰の失敗 (第一) 第十六章/142 ・ 第十八回 アブラムの更名 第十七章/151 ・ 第十九回 アブラハムの祷告 第十八章/159 ・ 第二十回 アブラハムの祈祷の答 第十九章/165 ・ 第二十一回 アブラハムの信仰の失敗 (第二) 第二十章/172 ・ 第二十二回 アブラハムの信仰の報 第二十一章/178 ・ 第二十三回 アブラハムの至上の試練 第二十二章/187 ・ 第二十四回 アブラハムの信仰の告白 第二十三章/194 ・ 第二十五回 アブラハムの信仰の完成 第二十四章/200 ・ 第二十六回 アブラハムの死 第二十五章/213 ・ 第二十七回 イサクの失敗と回復 第二十六章/220 ・ 第二十八回 イサク其子等を祝する事 第二十七章/228 ・ 第二十九回 ヤコブの新生 第二十八章/237 ・ 第三十回 ヤコブの奉仕 第二十九章～第三十章/248 ・ 第三十一回 ヤコブの歸國 第三十一章/256 ・ 第三十二回 ヤコブの潔め 第三十二章/262 ・ 第三十三回 ヤコブの失敗 第三十三章/271 ・ 第三十四回 ヤコブの不従順の償 第三十四章/278 ・ 第三十五回 ヤコブの潔めの完成 第三十五章一節～十五節/285 ・ 第三十六回 ヤコブの祝福の後 第三十五章十六節～第三十六章/291 ・ 第三十七回 ヨセフの幼時 第三十七章/296 ・ 第三十八回 ユダ家督の權を失ふ事 第三十八章/303 ・ 第三十九回 試練の中にあるヨセフ 第三十九章/308 ・ 第四十回 獄の中にあるヨセフ 第四十章/318 ・ 第四十一回 位にあるヨセフ 第四十一章/327 ・ 第四十二回 ヨセフの夢の成就せらるる事 第四十二章/338 ・ 第四十三回 ヨセフとヘンヤミン 第四十三章/348 ・ 第四十四回 ヨセフの兄弟等の悔改 第四十四章/356 ・ 第四十五回 ヨセフの自らを顯す事 第四十五章/363 ・ 第四十六回 ヤコブと其一族エジプトに下る事 第四十六章～第四十七章/371 ・ 第四十七回 家督權の祝福 第四十八章/381 ・ 第四十八回 ヤコブの子等に対する預言 第四十九章一節～二十七節/392 ・ 第四十九回 永眠の榮光 第四十九章廿八節～第五十章/408 ・ 第五十回 果を結ぶ枝たるヨセフ/420 ・ 附録 	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969560

MB00062	創世記講演	単著	バゼット・ウイルクス 述、大江邦治 編	基督教書類会社	東京	1923	540p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回 創世記総論/1・ 第二回 創造の始め第一（歴史的研究） 第一章/17 ・ 第三回 全 第二（靈的研究） 全/41・ 第四回 人類の始め 第二章/49 ・ 第五回 罪の始め 第三章/60・ 第六回 宗教の始め 第四章/71 ・ 第七回 社會の始め 第四十六節～五章/83 ・ 第八回 審判の始め 第一（歴史的研究） 第六章/93 ・ 第九回 審判の始め 第二（大洪水前） 第六章/109 ・ 第十回 救の始め（大洪水の間） 第七章/120 ・ 第十一回 回復の始め（大洪水の後） 第八章～第九章七節/130 ・ 第十二回 契約の始め 第九章八節～第廿九節/140 ・ 第十三回 國民の始め 第十章/153・ 第十四回 同盟の始め 第十一章/163 ・ 第十五回 アブラムの召 第十二章/176 ・ 第十六回 アブラムの撰擇 第十三章/185 ・ 第十七回 アブラムの性質の試み 第十四章/191 ・ 第十八回 アブラムの契約の恵 第十五章/201 ・ 第十九回 アブラムの信仰の失敗 第十六章/208 ・ 第二十回 アブラムの更名 第十七章/218 ・ 第二十一回 アブラハムの禱告 第十八章/227 ・ 第二十二回 アブラハムの祈禱の答 第十九章/233 ・ 第二十三回 アブラハムの信仰の失敗 第二十章/241 ・ 第二十四回 アブラハムの信仰の報 第二十一章/248 ・ 第二十五回 アブラハムの至上の試練 第二十二章/258 ・ 第二十六回 アブラハムの信仰の告白 第二十三章/265 ・ 第二十七回 アブラハムの信仰の完成 第二十四章/272 ・ 第二十八回 アブラハムの死 第二十五章/286 ・ 第二十九回 イサクの失敗と回復 第二十六章/293 ・ 第三十回 イサク其子等を祝する事 第二十七章/302 ・ 第卅一回 ヤコブの新生 第二十八章/312 ・ 第卅二回 ヤコブの奉仕 第二十九章～第三十章/324 ・ 第卅三回 ヤコブの歸國 第三十一章/333 ・ 第卅四回 ヤコブの潔め 第三十二章/340 ・ 第卅五回 ヤコブの失敗 第三十三章/350 ・ 第卅六回 ヤコブ不従順の償 第三十四章/358 ・ 第卅七回 ヤコブの潔めの完成 第三十五章一～十五節/367 ・ 第卅八回 ヤコブの祝福の後 第三十五章十六～三十六章/375 ・ 第卅九回 ヨセフの幼時 第三十七章/381 ・ 第四十回 ユダ家督の權を失ふ事 第三十八章/389 ・ 第四十一回 試練の中にあるヨセフ 第三十九章/396 ・ 第四十二回 獄の中にあるヨセフ 第四十章/408 ・ 第四十三回 位にあるヨセフ 第四十一章/419 ・ 第四十四回 ヨセフの夢の成就せらるる事 第四十二章/432 ・ 第四十五回 ヨセフとベニアミン 第四十三章/444 ・ 第四十六回 ヨセフの兄弟等の悔改 第四十四章/454 ・ 第四十七回 ヨセフ自らを顯す事 第四十五章/462 ・ 第四十八回 ヤコブと其一族エチプトに下る事 第四十六章～第四十七章/472 ・ 第四十九回 家督權の祝福 第四十八章/484 ・ 第五十回 ヤコブの子等に對する豫言 第四十九章一～第二十七節/497 ・ 第五十一回 永眠の榮光 第四十九章廿八節～第五十章/515 ・ 第五十二回 果を結ぶ枝たるヨセフ/529 	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA56599767	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969559
MB00063	主イエスの個人的会談	単著	バゼット・ウイルクス 著	日本伝道隊聖書学	垂水町 (兵庫県)	1935	108p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一、 主イエスと富める幸たる青年/1 ・ 第二、 主イエスと税吏の長ザアカイ/21 ・ 第三、 主イエスと惡をなせる婦/31 ・ 第四、 主イエスと捕へられ訴へられたる淫婦/45 ・ 第五、 主イエスとパリサイ人の宰ニコデモ/59 ・ 第六、 主イエスとサマリヤの賤婦/75 ・ 第七、 主イエスと十字架上の盜人/93 	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1057348

MB00064	羅馬書講演	単著	バゼット・ウィルクス 講演、米田豊 筆記	日本伝道隊聖書学 舎出版部	垂水町 (兵庫県)	1931	264p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回 羅馬書総論/1・ 第二回 一章一節より七節迄/9 ・ 第三回 一章八節より十七節迄/16・ 第四回 一章十八節より三十二節迄/23 ・ 第五回 二章一節より十六節迄/30・ 第六回 二章十七節より二十九節迄/38 ・ 第七回 三章一節より十九節迄/44・ 第八回 三章二十節より三十一節迄/55 ・ 第九回 四章全體/63・ 第十回 五章全體/74 ・ 第十一回 六章一節より十四節迄/84・ 第十二回 六章十五節より廿三節迄/92 ・ 第十三回 七章全體/98・ 第十四回 八章一節より十三節迄/108 ・ 第十五回 八章十四節より二十五節迄/114 ・ 第十六回 八章二十六節より三十九節迄/121 ・ 第十七回 九章一節より五節迄/132・ 第十八回 九章六節より三十三節迄/137 ・ 第十九回 十章一節より十一節迄/145・ 第二十回 十章十二節より二十一節迄/152 ・ 第二十一回 十一章一節より二十四節迄/157 ・ 第二十二回 十一章廿五節より三十六節迄/164 ・ 第二十三回 九章一節より十一章迄の総合的再述/171 ・ 第二十四回 十二章一節/175・ 第二十五回 十二章二節より八節迄/181 ・ 第二十六回 十二章九節より十二節迄/187 ・ 第二十七回 十二章十三節より十三章七節迄/193 ・ 第二十八回 十三章八節より十四節迄/201 ・ 第二十九回 十四章全體/208・ 第三十回 十五章一節より七節迄/215 ・ 第三十一回 十五章八節より十四節迄/220 ・ 第三十二回 十五章十五節より三十三節迄/225 ・ 第三十三回 十六章全體/232・ 羅馬書分解的綱領/241 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13684447	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037553
---------	-----------------------	----	-------------------------	------------------	--------------	------	------	--	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Willems, Heinrich		ハインリヒ・ウイレムス					カトリック		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00065	こう昇ったらどうか：教養の段階	単著	ハインリヒ・ウイレムス 著	エンデルレ書店	東京	1961	190p	<ul style="list-style-type: none"> ・ まえがき ・ 第一章 人間を根から知りたい/p11・ 第二章 かわいい私を知りたい/p27 ・ 第三章 自分の道を歩みたい/p38・ 第四章 こんな深い淵は避けたい/p49 ・ 第五章 明るく愉快に生きたい/p61・ 第六章 なまけたくない/p74 ・ 第七章 暖かい人間になりたい/p88・ 第八章 苦しみを利用したい/p99 ・ 第九章 苦しみを越えたい/p107・ 第十章 欠点と戦いたい/p120 ・ 第十一章 悪を放っておきたくない/p135・ 第十二章 真実に生きたい/p148 ・ 第十三章 まことの宗教を知りたい/p160・ 第十四章 理想に燃えて生きたい/p173 ・ あとがき 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA43662598	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940390
MB00066	みのりの秘訣：人生の道しるべ	単著	ハインリヒ・ウイレムス 著	エンデルレ書店	東京	1960	205p	<ul style="list-style-type: none"> ・ まえがき ・ 第一章 人生を潤す泉は高原に隠されてある/p15 ・ 第二章 隠された泉はこのようにしてあく/p28 ・ 第三章 魂を富ませるひそやかな協力者/p40 ・ 第四章 しながら時代にいかとうち克てばいいか/p49 ・ 第五章 展望台に立って人生を見わたそう/p63 ・ 第六章 生活を肯定する道/p65 ・ 第七章 生活の有難味を知る道/p72 ・ 第八章 ゴビ沙漠も展望台になった/p79 ・ 第九章 人生のレールの一方は神への愛である/p81 ・ 第十章 おくりものは愛情を開花する/p96 ・ 第十一章 人生のレールの他方は兄弟愛である/p103 ・ 第十二章 あなたも世界のにない手/p117 ・ 第十三章 人間は個人を超える宝を持っている/p124 ・ 第十四章 体を魂の従順な道具にするスポーツ/p137 ・ 第十五章 女性には惜しみなき使命がある/p146 ・ 第十六章 男子には王的な使命がある/p158 ・ 第十七章 夫婦の忠実は生命のゆりかごをまもる/p171 ・ 第十八章 友情は愛情をはぐくむ学校である/p181 ・ 第十九章 家庭に何よりほしいのは寛容な心/p190 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA43660424	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2936883

MB00067	息子は息子娘は娘：高校生の青春の教科書	単著	ハインリヒ・ウィレムス著	エンデルレ書店	東京	1959	160p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一章 愛にはどんな段階があるか/p15 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 はじめに/p15 ・ 二 肉体愛/p16 ・ 三 エロスの愛/p19 ・ 四 アガペの愛/p23 ・ 五 性本能について/p25 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究問題、宿題 ・ 第二章 私の愛の航路は正しいであろうか/p29 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 アデナウアーの学生時代の話/p29 ・ 二 学生向きの究明/p32 ・ 第三章 愛には両極の原則がある/p36 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 はじめに/p36 ・ 二 両極の原則/p38 <ul style="list-style-type: none"> ・ a 女性の面から ・ b 男性の面から ・ 〔附記〕 一 男女共学が別学か？/p46 ・ 二 婦人と社会/p49 ・ 第四章 愛には貯蔵の原則がある/p53 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 貯蔵の原則/p53 ・ 二 参考のために/p56 ・ 第五章 人間の起源は大いなる奥義である/p62 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 法則の働き/p62 ・ 二 生命の起源の解明/p63 ・ 三 はじらい/p72 ・ 祈り、研究問題 ・ 第六章 異性への憧れは大いなるエネルギーをうみ出すものである/p77 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 異性への憧れ/p77 ・ 二 理想と美/p81 ・ 研究問題、宿題 ・ 第七章 どのように結婚の相手を選んだらいいか/p91 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 理性と聖書/p91 ・ 二 男女交際上の注意/p95 ・ 三 配偶者を選ぶための知識/p101 ・ 研究問題 ・ 第八章 幸福な家庭を造るための準備/p105 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一 家庭の重要性/p105 ・ 二 男子の準備/p107 ・ 三 女子の準備/p109 ・ 四 キスの倫理/p112 ・ 五 ダンスの倫理/p113 ・ 六 結婚の準備と自己陶冶/p114 ・ 祈り、研究問題、宿題 ・ 第九章 独身者にはどんな使命があるか/p120 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一、自発的な独身者/p120 ・ 二 事情による独身者/p130 ・ 研究問題、宿題 ・ 第十章 世界を家庭にする働き/p136 <ul style="list-style-type: none"> ・ 祈り、あなたへの暗示、研究問題、宿題 ・ 附録 十二月訓・あとがき 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA72191892	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3037473
---------	-------------------------------------	----	--------------	---------	----	------	------	---	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Wainright, Samuel Hayman		エス・エイチ・ウェインライト		1863-1950		アメリカ南メソジスト教会 (プロテスタント)		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00069	ヨハネ伝註解	単著	エス・エイチ・ウエンラ イト 著	教文館出版部	東京	1929	590p	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨハネ傳概説/1 ・ 第一章 開辭(一の一一八)/1・ 開辭の特質/1 ・ 第二章 イエスの民衆傳道の第一朝/31 ・ バプテスマのヨハネの證明(一の九一四二)/33 ・ 教會と個人傳道(一の四三一五一)/45・ カナの宴(二の一一一一)/50 ・ 宮潔め(二の二二二二)/58・ イエスの慎重(二の二三二二五)/63 ・ ニコデモとの談合(三の一一一五)/66・ 神の創業(三の一六二二一)/80 ・ ヨハネの讓位(三の二二二三〇)/84・ 無量の御靈(三の三一三三六)/90 ・ イエスとサマリヤの女(四の一一四二)/94 ・ ガリラヤに於けるイエス(四の四三五四四)/115 ・ 第三章 イエスの民衆傳道とユダヤ人との論戰/119 ・ ベテスダ池畔のイエス(五の一一一八)/120 ・ イエスの神の子たる辯明(五の九一三二九)/136 ・ イエスの立場の言明(五の三〇一四七)/147 ・ バプテスマのヨハネの死に因るイエスの轉機 ・ イエス五千人に食を與ふ(六の一一一五)/163 ・ 湖上の暴風(六の一六二二一)/172・ 群衆への講述(六の二二二四〇)/174 ・ 生命のパンとしてのイエス(六の四一一五一)/189 ・ 進捗せるユダヤ人の焦慮(六の五二一五九)/196 ・ 弟子達躰かざる(六の六〇一六五)/198・ ベテロ信仰を告白す(六の六六一七一)/200 ・ イエス エルサレムに上る(七の一一一三)/205 ・ 假廬祭における講述(七の一四二四二)/212 ・ 祭りの最後の日のイエス(七の二五一五三)/218 ・ イエス姦淫の女を赦す(八の一一一一)/230 ・ 假廬祭に續くイエスの講述(八の二二二二〇)/232 ・ 再度神殿のうちに於て(八の二一一五九)/240 ・ 生れながらの盲人の復明(九の一一一二)/266 ・ 世の光たるイエス(九の一三一四一)/274 ・ 眞の牧者と偽りの牧者(一〇の一一二二一)/286 ・ 宮潔めの祭りに於けるイエス(一〇の二二二四二)/301 ・ ラザロの病めるをきく(一一の一一一六)/308 ・ イエス ラザロを甦らしむ(一一の一七一四四)/314 ・ この奇蹟の影響(一一の四五一一五七)/326・ ベタニヤの受膏(一二の一一一九)/334 ・ イエスに謁えんとするギリシヤ人(一二の二〇一三六)/346 ・ 回想と綜合(一二の三七一五〇)/360・ 第四章 告別の講述(十三章一十七章)/365 ・ イエス弟子達の足を洗ふ(一三の一一一一)/366 ・ ユダ友叛の懐ひを抱く(一三の二二二三〇)/374 ・ 新らしき誠命(一三の三一三三八)/383・ 七つの慰安の聲明(一四の一一三一)/386 ・ 葡萄の樹とその枝(一五の一一一一)/425 ・ 新らしき誠命(互に相愛せよ)(一五の二二二一七)/433 ・ 世の憎惡と聖靈の慰め(一五の一八一六の一一)/438 ・ 御靈の機能について(一六の二二二二三)/452 ・ 大祭司としての主の祈り(一七の一一二二六)/458 ・ 第五章 死を越ゆる勝利(十八章一二十章)/497 ・ ゲツセマネの園の懊惱とユダの反逆(一八の一一一一)/498 ・ 大祭司の尋問(一八の二二二二七)/506・ ピラトの審問(一八の二八一一九の六一)/514 ・ 十字架(一九の一七一三〇)/536・ 二つの請願(一九の三一四二)/542 ・ イエス復活す(二十章一二十一章)/548 ・ 復活のイエス マグダラのマリヤに現はる(二〇の一一一八)/548 ・ 弟子達への第一の顯現(二〇の一九一二三)/559 ・ 弟子達への第二の顯現(二〇の二四二二九)/562 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39208998	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1180637

MB00070	ウェスレー氏説教集 上巻	共訳	エス・エイチ・ウェイン ライト、櫻井成明、菱沼 平治 共訳	吉岡美国	神戸	1898.7	753p	・ 説教一 信仰に由りて救はるること/1p・ 説教二 似而非なるクリシチャン/25p ・ 三 寝たる者よ目を醒まして起きよ/43p・ 四 聖書的の基督教/69p ・ 五 信仰に由りて義と称せらるること/103p ・ 六 信仰の義/131p・ 七 神の国に至る道/157p ・ 八 聖霊の初めて結べる実/179p・ 九 奴たる者の霊、子たる者の霊/203p ・ 一〇 聖霊の証 其一/233p・ 一一 聖霊の証 其二/259p ・ 一二 我儕の霊の証/285p・ 一三 信徒の罪につきて/307p ・ 一四 信徒の悔改/335p・ 一五 大開延/369p ・ 一六 受恩の方法/397p・ 一七 心の割礼/437p ・ 一八 新生の特質/461p・ 一九 神に生るる者の大なる特権/485p ・ 二〇 我儕の義なる主/507p・ 二一 山上垂訓 其一/537p ・ 二二 山上垂訓 其二/573p・ 二三 山上垂訓 其三/611p ・ 二四 山上垂訓 其四/649p・ 二五 山上垂訓 其五/685p ・ 二六 山上垂訓 其六/723p	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01678442	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824071
MB00071	改正万国表	単著	ウエンリート 著	須原屋茂兵衛[ほか]	東京	1800	1		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA59547522	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/805773

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Vories, William Merrell		ウィリアム・メルル・ヴォーリス (一柳米来留)		1880-1964		近江ミッション (プロテスタント)		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00072	ヴォーリス著作集 = HOW SHALL I FURNISH MY HOME? 2	単著	W・M・ヴォーリス 著、一粒社ヴォーリス建築事務所 監修	創元社	大阪	2017.4	222p	1924年版の『吾家の設備』の目次と大方向じ	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23639091	-
MB00073	ヴォーリス著作集 = HOW SHALL I PLAN MY HOME? 1	単著	W・M・ヴォーリス 著、一粒社ヴォーリス建築事務所 監修	創元社	大阪	2017.4	262p	1923年版の『吾家の設計』の目次と大方向じ	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB23614953	-
MB00074	吾家の生活	単著	ウィリアム・メルル・ヴォーリス 著、岡田学 編	遵義堂	富士見	2015.11	252p	第一章 吾家の生活/9、理想的な生活/11、食べ物について①/13 食べ物について②/16、食べ物と台所の衛生について/20 不用物の排泄について/23、食堂の生活について①/27 食堂の生活について②/30、来客用の食べ物について/34 食べ物と排泄について/37、教育問題について/41、趣味について/44 ライフワークについて/51、協力が競争か/56、日曜日問題について/61 休暇について/69、批評すなわち讃辞/76、音楽について/81 再び職業問題について/91、時間の問題について/98、母の感化/106 宗教について①/110、宗教について②/112、不断の向上①/116 不断の向上②/119、人生の意義/121、一日二十四時間の割り当て①/124 一日二十四時間の割り当て②/128、一日二十四時間の割り当て③/132 安息日の意義/135、第二章 ヴォーリスの理想的な建築/141 天井は低い方がよい/143、日本住宅の革命/144 真の文化生活/151、日常生活の研究/155 現代日本におけるキリスト教教会堂建築について/157 耐震耐火建築と人格/161、日本における教会建築の進展/165 子供中心の家/170、神戸女学院新校舎建築の要素/178 日本の建築 (ラジオ講演) /184、教会建築/189 建築随録①/191、建築随録②/195、日本建築の世界進出/198	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB20305271	-

MB00075	吾家の設備	単著	ウィリヤム・メレル・ヴォーリズ 著	福永重勝	東京	1924	133p	<ul style="list-style-type: none"> 一 総論/1p・二 設備の心掛/6p・三 四ツの要件/10p 四 室内装飾家/14p・五の上 家具/17p 五の下 舶來家具と和製の家具/21p・六 壁の塗上げ/25p 七 臺所の設備/38p・八の一 食堂の設備/49p 八の二 銀道具の最少限度/60p・九 寢室の設備/66p 一〇 居室/88p・一一 衛生水道設備及暖房装置/98p 一二 書物と掛額/115p・一三 第二次的な各室の設備/119p (一) こども室/119p・(二) 應接間/122p (三) 玄関及廊下/123p・(四) 客室/124p (五) 書齋及圖書室/126p・(六) 女中部屋及他の雇人部屋/127p 一四 結論/129p 	http://ci.nii.ac.jp/books/search?advanced=true&count=20&sortorder=3&type=0&title=%E5%90%BE%E5%AE%B6%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%82%99&update_keep=true	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/982265
MB00077	吾家の設計	単著	ウィリヤム・メレル・ヴォーリズ 著	文化生活研究会	東京	1923	139p	<ul style="list-style-type: none"> 第一講 <ul style="list-style-type: none"> 一 建築問題/1p・二 五ツの目的/4p 三 愛兒中心の設計/11p・四 個性尊重のために/16p 五 太陽の光を受けて/21p・六 空気のごと/26p 七 畳/29p・八 ベット/33p・九 二階建と階段のごと/36p 第二講 <ul style="list-style-type: none"> 一 土地の選び方/45p・二 臺所から始める設計/49p 三 それから寢室/57p・四 最小限の住宅設計/66p 五 二十坪住宅とダブルハウス/73p・六 子供達のために/82p 第三講 <ul style="list-style-type: none"> 一 玄関/91p・二 日光室・サンボーチと女中部屋/93p 三 古家の改造/98p・四 アパートメントハウス(其一)/112p 五 アパートメントハウス、附 天井のごと(其二)/117p 六 階段/120p・七 煙突とファイアブレース/124p 八 外形/128p・九 室内の設備/133p 	http://ci.nii.ac.jp/books/search?advanced=true&count=20&sortorder=3&type=0&title=%E5%90%BE%E5%AE%B6%E3%81%AE%E8%A8%88&update_keep=true	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/970451

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Umans, Johan		ヨハネ・ウマンス		1926-2015			カトリック・神言会		オランダ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00078	ルースブルックの神秘の書	独訳	ルースブルック 著、ヨハネ・ウマンス 訳	南窓社	東京	1997.2	272p	訳者序言 /1、靈的婚姻/13、P. モマーズ著『靈的婚姻』について/153 燦めく石/189、訳者解説/230、最高の真理について/237 訳者解説/260、ルースブルックの用語/265	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN16158735	-
MB00079	詩編で祈る	編集	J.ウマンス 編	オリエンズ宗教研究所	東京	1989.10	174p	まえがき 知恵の詩 /1、信賴の詩/23、罪とゆるしについての詩/31、嘆願/49 神の民のための歌/75、慰めの詩/95、感謝の詩/109、賛美の詩/137	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA62854519	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Wood, William		ウィリアム・ウッド		1956-			真理のみことば伝道協会 (プロテスタント)		アメリカ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00080	靈の戦い：虚構と真実	共著	ウィリアム・ウッド、パスカル・ズィヴィー 著	いのちのことば社	東京	2011.3	119p	序文 (村上密) /1 I ヨブ記に学ぶ「靈的戦い」 (ウィリアム・ウッド) /13 II 靈の戦い—虚構と真実 (パウカル・ズィヴィー)/41 第1章 「ロゴス」と「レーマ」の虚偽の教義/44 第2章 「先祖の罪」・「先祖の呪い」の虚偽の教義/53 第3章 「縛る」と「解く」の虚偽の教義/63 第4章 「地域の靈」の虚偽の教義/82 第5章 ほかの福音/102	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB06049069	-
MB00081	「セカンドチャンス」は本当にあるのか：未信者の死後の救いをめぐって	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	2009.12	101p	目次は2007年初版の目次とほぼ同じ。 増補改訂版	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB01471364	-

MB00082	100のミニ・メッセージ：あなたを元気にする	単著	ウィリアム・ウッド 著	イーグレープ	東京	2009.6	318p		-	-
MB00083	「セカンドチャンス」は本当にあるのか：未信者の死後の救いをめぐって	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	2007.8	87p	推薦の言葉 渡辺俊彦 まえがき 第1章 「セカンドチャンス論」とは／11 第2章 「セカンドチャンス論」が示す聖書の根拠／22 第3章 「セカンドチャンス論」の聖書の根拠の検討／35 第4章 「セカンドチャンス論」を否定する聖書の根拠／456 第5章 結論／74 あとがき	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA83208884	-
MB00084	「健全な信仰」と「カルト化した信仰」	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	2005.2	71p	まえがき 「信仰」とは／7、「献身」とは／22、「みこころ」とは／40 「みことば」とは／48、「教会」とは／62	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA71179891	-
MB00085	教会がカルト化するとき：聖書による識別力を養う	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	2002.12	71p	まえがき 第一章 「指導者に従っていれば大丈夫」？／11 第二章 「熱心だから正しい」？／25 第三章 「聖書を用いるから安心」？／32 第四章 「不思議なことが起こるから間違いない」？／40 第五章 「迫害こそ、真の宗教の証し」？／47 第六章 教会員へのアドバイス／52 第七章 牧師へのアドバイス／57 第八章 教会のカルト傾向を測るチェックリスト／62 あとがき	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA59891299	-
MB00086	エホバの証人：カルト集団の実態	単著	ウィリアム・ウッド 著	三一書房	東京	1997.8	225p	まえがき／1 第一章 何か異常なことが／13 第二章 「カルト」とは何か／25 第三章 彼らは何を求めているのか／51 第四章 嘘オンパレード／67 第五章 無責任極まりない体質／105 第六章 世界中で一番幸せな少年／123 第七章 終わることのない輸血拒否によるトラブル／129 第八章 精神障害の異常な発生率の背後にあるもの／147 第九章 ある元都市監督ご夫妻へのインタビュー／163 第十章 自由への道／179 第十一章 マインド・コントロールの後遺症と克服法／201 あとがき／220	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA33066482	-
MB00087	<エホバの証人>への伝道とフォローアップ	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1995.6	256p	序／1 I エホバの証人の受け皿となる 教会の三つの基本的条件／9 II 救いを妨げる問題／11 III クリスチャン生活を妨げる諸問題／18 IV 彼らとの個人的聖書研究会／35 第1章 「福音理解」コース／37 第2章 「勝利あるクリスチャンライフ」コース／51 第3章 「キリスト教の基本教理」コース／141 第4章 「喜びあふれる教会生活」コース／171 彼らとの個人的聖書研究会解答／201	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39558650	-
MB00088	エホバの証人：マインド・コントロールの実態	単著	ウィリアム・ウッド 著	三一書房	東京	1993.10	240p	序文／1 第一章 社会問題続発中／9、第二章 その始まり／27 第三章 伝道のプロセスとマインド・コントロール／57 第四章 ものみの塔の権威／87、第五章 一番の被害者である子供たち／151 第六章 血の問題／169、第七章 ものみの塔の王国／187 第八章 キリスト教とどこが違うのか／199、第九章 救出への道／211 エホバの証人の方々への最後の一言／234	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09797290	-
MB00089	「エホバの証人」の反三位一体論に答える：資料集	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1992.9	31p		-	-

MB00090	目ざめの時! [2] (忠実で思慮深い奴隷:それはだれか)	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1990.1	24p	ルーツ／3、「靈的食物」／9、疑問点／14、結論／22、決断の時／30	-	-
MB00091	異端の反三位一体論に答える:「エホバの証人」を中心として	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1990.10	186p	推薦のことば 森川昌芳 序文 第一章 異端の特徴—三位一体の否定／11、第二章 三位一体とは何か／31 第三章 歴史は何と言っているか／44、第四章 イエスは神ではないのか／64 第五章 聖霊は神の活動力か／128 第六章 聖書は三位一体について教えているか／150 第七章 キリスト教の中心的教理—三位一体／169	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73538281	-
MB00092	「エホバの証人」と「キリストの証人」	単著	ウィリアム・ウッド 著	越谷純福音教会	越谷	1983.7	164p	推薦のことば 吉山宏/i はじめに /v 第一章 その歴史と現状／1、第二章 あなたがたは、わたしをだれだと言いますか／6 第三章 「エホバの証人」の疑問に答える／23 第四章 イエスはエホバである／50 第五章 聖霊について／58、第六章 三位一体の神／68 第七章 キリストの復活／86、第八章 ハデスと人間の死後の状態／105 第九章 眞の教会とは／129、第十章 『新世界訳』について／145 第十一章 救われるためには／151、第十二章 あかしするポイント／157 おわりに	-	-
MB00093	モルモン教とキリスト教	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1986.2	132p	推薦のことば 姫井雅夫／3 序文 中川健一／5 はじめに /8 1 モルモン教の起源／13、2 『モルモン経』／33 3 『教義と聖約』と『高価なる真珠』／51、4 モルモン教の教え／62 5 モルモン教の本質／89、6 証しするために／118	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11120462	-
MB00095	「エホバの証人」への伝導ハンドブック	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1987.3	249p	推薦のことば 千代崎秀雄／3 はじめに /6 第一章 まず理解することから始めよう／17 第二章 キリスト教会の立場から弁明しよう／33 第三章 組織に対する信頼感を揺るがせよう／73 第四章 本当の福音を語ろう／105 第五章 証しのアドバイス／235	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11771733	-
MB00096	「エホバの証人」の教えと聖書の教え	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1988.3(第6刷:1994年)	234p	1983年版『「エホバの証人」と「キリストの証人」』の目次と大方向じ	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07308917	-
MB00097	目ざめの時!: 1914年:それは特別な年か	単著	ウィリアム・ウッド 著	いのちのことば社	東京	1989.6	32p	1914年説の背景／3、1914年に関するラッセルの本当の予言 /5 エホバの証人の弁明 /9、歴史的観点から見た1914年説 /15、決断の時 /30	-	-

宣教師名 Essen, Peter Von		宣教師名 (J) ペトロ・ボン・エッセン		生没年 1931-		所属 カトリック・カプチン・フランシスコ会		出身国 アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00099	ごんには、マリアさま 2	単著	ペトロ・ボン・エッセン 著	アルマツト、国際 語学社	東京	2007.5	133p	まえがき/2、共にいること/7、家庭/11、わが家/15 聖ヨセフ/19、伴侶/23、主のはしため/27 わたしの母とはだれか/31、あわれみの母/35 母よ、子よ!/39、喜びの源/43、メッセージ/47 ロザリオを繰りながら/51、光の奥義/55 高齢者マリア様/59、共感愛/63、悲しみの幸/67、ピエタ/71 神の母/75、今日の喜び/79、母/83、母なる弟子/87 聖母の誘惑/91、恵みの痛み/95、愛の奉獻/99 ほほえみ/103、ご出現/107、望みの聖母/111 光に隠れたマリア様/115、天の女王/119、平和のきさき/123 復活の道行き/127、おわりに/132	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA69075973	-
MB00100	幸せの裏には：どうしたら幸せに生きられるか	単著	ペトロ・ボン・エッセン 著	アルマツト、国際 語学社	東京	2006.4	159p	まえがき/2、人間の問題と問題の人間/8、無関心/11 幸せの前提/15、親と子の対話/18、待つ/20 脇役/24、足あと/27、勇気/30、未完成の美しさ/33 忙しさ/35、何でもないようなもの/38、人の幸せと幸せな人/42 漢字/45、真の成功者/48、性にもルール/50 信仰と扉/52、人間の尊さ/55、壁/58、偉いとは/61 孤独/64、前向きな目/68、かんしゃく/71、憩いの場/74 人生は時間である/77、母親の心得/80、友情への道/82 真の会話/85、適応すること/88、ちりと梁/91 幸せな人生/94、いのち燃えつきるとも/96 自由に生きるとは/99、人間の救い/102、考える葦/105 お金と幸せ/108、自分で造っていく平和/111 愛の灯台/114、親の偉大さ/116、逃れられぬもの/119 個人と社会/122、抵抗/124、幸せを味わうところ/126 あとがき/129 お金のいない5つのプレゼント/130	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA77757516	-
MB00101	幸せの裏には	単著	ペトロ神父 著	エンデルレ書店	東京	1975	159p	まえがき 人間の問題と問題の人間/1、無関心/5、幸せの前提/9 親と子の対話/13、待つ/17、脇役/21、足あと/25 勇気/29、未完成の美しさ/32、忙しさ/36 何でもないようなもの/40、人の幸せと幸せな人/44 漢字/48、真の成功者/51、性にもルール/54、信仰と扉/57 人間の尊さ/61、壁 (かべ) /65、偉いとは/69 孤独/72、前向きな目/76、癡癡/80、憩いの場/84 人生は時間である/88、母親の心得/91、友情への道/94 真の会話/98、適応すること/101、ちりと梁/105 幸せな年・幸せな人生/108、いのち燃えつきるとも/112 自由に生きるとは/116、人間の救い/120 考える葦/124、お金と幸せ/127、自分で造っていく平和/131 クリスマスの喜び/134、親の偉大さ/138 のがれられぬもの/142、個人と社会/146、抵抗/150 幸せを味わうところ/154、あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA84711071	-

MB00102	こんにちは、マリアさま	単著	ペトロ・ボン・エッセン 著	アルマツト、国際 語学社	東京	2004.5	163p	はじめに／2 1 今日の喜び／7、2 神の母／13 主の祈り 3 ①「主の祈り」／21、4 ②「お父様」／29、5 ③「私たちの…」／37 6 ④「天におられる」／45、7 ⑤「み名が聖とされますように」／53 8 ⑥「み国が来ますように」／61、9 ⑦「み心が行われますように」／69 10 ⑧「日ごとの糧」／77、11 ⑨「私たちも許す」／85 12 ⑩「誘惑に陥らせず」／93、13 ⑪「悪からお救い下さい」／101 キリストの七つの言葉 14 ①「許します」／109、15 ②「今日、楽園に」／117 16 ③「なぜ見捨ててるか」／125、17 ④「母よ、子よ！」／133 18 ⑤「渴く」／139、19 ⑥「成しとげられた」／147 20 ⑦「父よ、わたしの霊をみ手に委ねます」／155 おわりに／162	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA69075973	-
MB00103	愛するために生まれた：ペトロ神父のメッセージ	単著	ペトロ・ボン・エッセン 著	アルマツト、国際 語学社	東京	2002.12	121p	はじめに／ I 愛について／7、II 幸せについて／29、III 家族、結婚について／53、 IV 優しさ、子どものすばらしさについて／73、V 安らぎ、そして平和について／99 終わりに／120 付属CDの収録内容 # 1 ♪「愛は川のように」（賛美歌） # 2 はじめに、# 3 愛について、# 4 幸せについて # 5 ♪ラララのテーマ、# 6 家族、結婚について # 7 優しさ、子どものすばらしさについて # 8 ♪そらの鳥は（子どもの賛美歌） # 9 安らぎ、そして平和について # 10 ♪優しい目は（聖歌、# 11 またお会いしましょう	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA6065444X	-
MB00104	愛されて愛する	単著	ペトロ・ボン・エッセン 著	サンパウロ	東京	1998.1	149p	はじめに／3、神の母 聖マリア／9、人との出会い／15 神との出会い／21、新しい心／27、愛の背景／34、時を大切に／40 解放への道／46、孤独を読み取る／52、人生の午前と午後／59 思い出すこと、忘れること／66、平和について／73、愛されて 愛する／80 マリア様と共に／86、良く生きること／92、待つことの意味／98 ピオ神父様のこと／105、合わせる掌／112、キリストのまなざし／118 心の貧しい人は幸いである／124、母であるマリア様／131 悲しみの意味／137、義に飢え渴く人／143	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA54122854	-
MB00105	幸せのヒント：あなたとわたしと共に・・・	単著	ペトロ神父 著	サンパウロ	東京	2002.8	254p	はじめに／3、夜明けを迎えて／9、夢から現実に／64、晴れ、時々曇り／112 陰より光へ／158、芽生えから花まで／204、おわりに／253	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA59047712	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Enomiya-Lassalle, Hugo M.		愛宮真備 (フーゴー・ラッサール)		1898-1990		カトリック・イエズス会		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00106	真理と恩恵 第1部	単著	愛宮真備 著	エンデルレ書店	東京	1959		第一部 目次／まえがき／一 日本の宗教とカトリック／p1 二 宗教の必要／p8、三 唯物論の批判／p16、四 人間の目的／p21 五 神の認識とその妨げ／p29、六 神の本質／p42、七 創造及び主宰／p53 八 神に対する礼拝と奉仕／p58、九 愛の掟／p70 十 我等の生命—第五の掟／p81、十一 我等の自体—第六及び第九の掟／p91 十二 結婚／p98、十三 財産／p103、十四 真実と光栄／p110 十五 家庭／p120、十六 団体と国家／p131、十七 天主の十戒／p136 十八 罪／p142 第一部 あとがき／(附録) 研究と理解のたすけのために (自問自答)	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45230357	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2941869

MB00107	真理と恩恵：カトリック宗教学 第1部 (自然宗教)	単著	愛宮真備 著	エンデルレ書店	東京	1966	161p	<p>第一部 目次/まえがき /ー 日本の宗教とカトリック / p1</p> <p>二 宗教の必要 / p8、三 唯物論の批判 / p16、四 人間の目的 / p22</p> <p>五 神の認識とその妨げ / p30、六 神の本質 / p44、七 創造及び主宰 / p56</p> <p>八 神に対する礼拝と奉仕 / p61、九 愛の掟 / p74</p> <p>十 我等の生命—第五の掟 / p85、十一 我等の身体—第六及び第九の掟 / p95</p> <p>十二 結婚 / p102、十三 財産 / p107、十四 信実と光栄 / p114</p> <p>十五 家庭 / p124、十六 団体と国家 / p135、十七 神の十戒 / p141</p> <p>十八 罪 / p147、第一部 あとがき</p> <p>(附録) 研究と理解のたすけのために (自問自答)</p>	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940178
MB00108	真理と恩恵 第2部	単著	愛宮真備 著	エンデルレ書店	東京	1960	<p>第二部 目次 / まえがき /</p> <p>十九 天啓 / p1、二十 キリスト教的天啓 / p9、二十一 人間と天使 / p17</p> <p>二十二 原罪 / p24、二十三 旧約時代 / p32</p> <p>二十四 人間としてのイエズス・キリスト / p37</p> <p>二十五 約束されたメシヤ、イエズス・キリスト / p44</p> <p>二十六 キリストは神である / p54、二十七 三位一体 / p61</p> <p>二十八 神の御子の御託身 / p68、二十九 キリストの御愛難 / p78</p> <p>三十 御復活と御昇天 / p88、三十一 聖霊の御降臨と教会の設立 / p98</p> <p>三十二 教会 / p104、三十三 神の恩恵 / p122、三十四 秘跡 / p127</p> <p>三十五 洗礼 / p134、三十六 堅信 / p146、三十七 御聖体 / p152</p> <p>三十八 告解の秘跡 / p168、三十九 叙階の秘跡 / p180</p> <p>四十 婚姻の秘跡 / p185、四十一 教会の掟 / p194</p> <p>四十二 キリスト教徳と完徳 / p199、四十三 諸聖人の通功 / p215</p> <p>四十四 終油の秘跡 / p228、四十五 死と私審判 / p232、四十六 天国 / p238</p> <p>四十七 煉獄 / p248、四十八 地獄 / p254、四十九 世の終りの前兆 / p262</p> <p>五十 キリストの再臨と死者のよみがえり / p266、五十一 公審判 / p270</p> <p>五十二 見える世界の新しい創造 / p275、五十三 光栄のうちの神の御国 / p279</p>	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA45230357	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940195	
MB00109	モスコウカローマか?	単著	フーゴー・ラッサール 著	中央出版社	東京	1951	61p	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序文/p1 ・ 一、カトリック主義と共産主義の共通点/p5・ 二、共産主義の失敗/p11 ・ 経済制度としての共産主義/p11・ マルクスの豫言は当たったか/p13 ・ マルクス辨證論の批判/p17・ マルクスの矛盾は何所から出たか/p19 ・ 信仰としての共産主義/p21・ 共産主義のヴィジョンは實現し得るか/p23 ・ 人間と共産主義/p25・ 何故共産主義は宗教と合致しないか/p29 ・ マルクス思想批判の結論/p31・ 三、カトリック的解決/p35 ・ カトリック的解決の前提/p39・ 健全なる社會制度に関する考え/p44 ・ 理想的新社會に関するカトリック教會の意見/p45 ・ 自由競争は許されない/p47・ 職業に基く社會構造/p48 ・ 四、カトリック教會のヴィジョン/p51・ キリストの神祕體/p54 ・ 結論/p59 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA54824567	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2941868

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Evangelista, Antonio		A・エバンヘリスタ		1914-1995		カトリック・イエズス会		スペイン		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00110	目で見える聖イグナチオ・デ・ロヨラの自叙伝	共訳	イグナチオ・デ・ロヨラ 著、A・エバンヘリスタ、佐々木孝 訳、ホアン・カトレット 絵	新世社	名古屋	1991.7	237p	はじめのことば ダ・カラマ神父の前書き 第1章 ロヨラ、新しい誕生/7、第2章 モンセラット、新しい人を着る/31 第3章 マンレーサ、神の学校/49、第4章 エルサレム、主の家への巡礼/89 第5章 バルセローナ、魂の援助としての勉強/115 第6章 アルカラ、危険と牢屋/129、第7章 サラマンカ、困難と鎖/151 第8章 バリ、最初の仲間/171、第9章 アスベイチア、故郷で預言者は/199 第10章 イタリア、他のエルサレム/211、第11章 終点ローマ、いつも探求で/225 あとがき/235	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13474160	-
MB00111	ロヨラの巡礼者：聖イグナチオ自叙伝	共訳	イグナチオ 述、A.エバンヘリスタ、佐々木孝 共訳	中央出版社	東京	1980.12	176p		http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03792873	-
MB00112	祈りについて：念祷・黙想・活動	単著	A.エバンヘリスタ 著	中央出版社	東京	1972	235p	はしがき / 1 第一章 黙想/9、第二章 感動の祈り/30、第三章 獲得的感想/51 第四章 聖パウロの祈り・三位一体への祈り/72 第五章 キリスト・イエズスにおける祈り/101、第六章 神の現存/121 第七章 祈りと典礼/147、第八章 祈りと生活/164、第九章 使徒的祈り/179 第十章 活動における観想家/196	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA51944416	-
MB00113	マリア論入門：主の母・教会の像	単著	エバンヘリスタ 著	中央出版社	東京	1971	371p	序論 第一章 マリアの役割/1、第二章 マリアと教会/15 第一部 聖書におけるマリア、第一章 神の母マリア/55 第二章 救済史におけるマリア/124 第二部 神学におけるマリア、第一章 神の母マリア/197 第二章 全く人間的な母性/216、第三章 処女母性/231 第四章 無原罪のおんやどり/264、第五章 信者の霊的母なるマリア/300 第六章 あがないへのマリアの協力/314 第七章 恩恵の分配におけるマリアの仲介/337、第八章 栄光を受けたマリア/350 マリア論の一般文献/369	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA38349098	-
MB00114	ロヨラのイグナチオ：その自伝と日記	共訳	イグナチオ 著、A.エバンヘリスタ、佐々木孝 訳編	桂書房	東京	1966	282p	まえがき / 1 ロヨラのイグナチオ自叙伝/7、イグナチオの巡礼/9、自叙伝/39、注釈/121 霊的日記/155、愛に燃える奉仕/157、霊的日記/191 清貧についての選定/247、注釈/251 あとがき/279	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14722596	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940749
MB00115	キリストとともに 第1	単著	A.エバンヘリスタ 著	ドン・ボスコ社	東京	1962	207p	序文 / 1 第1章 母からわかれて受難にはいるイエズス/13 第2章 ゲッセマニの苦しみ/23 第3章 くらやみのなかに祈る/31、第4章 悲しみの原因/39 第5章 汁は血のしずくのように/47、第6章 ユダの裏切り/55 第7章 キリストとユダ/63、第8章 キリストの捕縛/73 第9章 ベトロの呑み/83、第10章 キリストの沈黙/95 第11章 むち打たれたキリスト/105、第12章 王なるキリストの受難/113 第13章 真理と生命の国/121、第14章 正義と愛と平和の国/129 第15章 キリストの王冠/139、第16章 見よ、この人を/147 第17章 キリストに倣って/157、第18章 十字架の道行き/167 第19章 マリアと十字架の道/175、 第20章 わたくしたちと十字架の道/181 第21章 自分の十字架を負う/191、第22章 キリストに従う/199	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75934723	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939777

MB00116	キリストとともに 第2	単著	A.エバンヘリスタ 著	ドン・ボスコ社	東京	1962	目次 / 第1章 十字架にくぎづけられたキリスト / p7 第2章 十字架上のキリストの祈り / p15 第3章 十字架上のキリストのゆるし / p23 第4章 十字架上のキリストの遺言 / p31 第5章 十字架上のキリストの心のやみ / p43 第6章 十字架上のキリストの願い / p53、第7章 十字架上のキリストの従順 / p61 第8章 十字架上のキリストの委託 / p69 第9章 おん父の愛をあらわす十字架 / p79 第10章 人間に対するおん子の愛をあらわす十字架 / p89 第11章 おん父に対するおん子の愛をあらわす十字架 / p99 第12章 聖霊の愛をあらわす十字架 / p109 第13章 わたくしたちの愛と十字架 / p117 第14章 使徒職と十字架 / p127、第15章 愛をあらわすおんわき腹の傷 / p137 第16章 生命の源であるイエズスのみ心 / p147 第17章 避難所であるイエズスのみ心 / p155 第18章 み心より誕生する教会 / p165 第19章 教会の一致の源であるみ心 / p175、第20章 悲しみの母 / p185	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75934723	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939778
MB00117	キリストとともに 第3	単著	A.エバンヘリスタ 著	ドン・ボスコ社	東京	1962	目次 / 第1章 キリストのご復活 / p15 第2章 祈りのうちに夜をあかさされる聖母マリア (I) 待望 / p21 第3章 聖母マリアへのイエズスのご出現 (II) 出会い / p29 第4章 死と罪と敵とに対するキリストの勝利 / p35 第5章 マタグラのマリアの、キリストとの出会い / p43 第6章 ベトロの、キリストとの出会い / p53 第7章 キリストとともに復活するわたくしたち / p61 第8章 毎日のわたくしたちの復活 / p69 第10章 エンマウスに向かう弟子たちへのご出現 / p87 第11章 十一人の弟子たちに平安を与えられる / p97 第12章 キリストのおんからだに残るおん傷 / p107 第13章 トマの信仰告白 / p115、第14章 愛のうちに教会を制定される / p125 第15章 弟子たちをつかわされる / p135 第16章 教会におけるキリストの現存 (キリスト) 現存は教会の力 / p145 第17章 愛によるキリストの現存 (II) 愛による現存 / p155 第18章 聖霊を通じて人々のうちに現存されるキリスト (III) 霊魂のうちに現存されるキリストとの出会い / p165 第19章 ご昇天のよろこび / p173、第20章 イエズスのご昇天 / p181 第21章 ご昇天にあずかられる聖母マリア / p189 第22章 おん父は神秘的なからだに聖霊をつかわされる / p197 第23章 教会を生かす聖霊 / p205 第24章 あがないの完成である聖霊の内在 / p215	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA75934723	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939779

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Erlinghagen, Helmut		H. エルリンハーゲン		1915-1987		カトリック・イエズス会		ドイツ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00118	キリスト教信仰入門	単著	H.エルリンハーゲン 著	ソフィア・ユニバーシティ・プレス	東京	1970	344p	はしがき/1 第一部 神の理解 神の存在の一般的確信/9、秩序から神への道/14、倫理から神への道/27 形而上学的な神の存在の説明とアナロジア/43、 古代・中世哲学史における神の認識/59、近世哲学史における神の認識/69 信仰と科学/98 第二部 イエス・キリスト 天啓と聖書/117、旧約聖書のいくつかの代表的な部分/141 神の子キリスト/167、奇跡の問題/197、父と子と聖霊/216 第三部 教会の意義 聖霊/229、神の民/234 第四部 人間の本質と神との出会い 精神の存在と本質/253、進化論/262 自由意志/276、死と永遠の生命/284、祈り/315	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN05911077	-
MB00119	マルクーゼと新左翼：その要点的説明と批判	単著	H.エルリンハーゲン 著	ソフィア・ユニヴァーシティ・プレス	東京	1969	92p	1 古いアナーキズムと新しいアナーキズム/3、2 新左翼思想の一般的特徴/10 3 マルクーゼの思想における実存主義的要素/13 4 フロイトの影響と「快樂の復権」/16 5 新左翼の基本的論理—マルクスの影響/23 6 歴史とユートピア/32、7 弁証法/38、8 寛容と非寛容/41 9 「一次元的人間」と「偉大なる拒絶」/48、10 新左翼と大学/60 11 最後に—マルクーゼ批判三点/67、12 日本の新左翼—その特殊性/76 あとがき	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04757583	-
MB00120	善と神を求めるとののために：キリスト教の実践	単著	H.エルリンハーゲン 著	春秋社	東京	1968	202p	・ 序 ・ 倫理の二つの基準/p3・存在論にもとづく道徳の本質/p5 ・ 価値哲学による七つの価値の表/p13 ・ 神への愛と人類愛/p30・神の十戒/p50 ・ 礼拝の本質と迷信/p52・約束と英雄性/p59 ・ 感謝と休養/p64・親、目上、封建主義/p78 ・ 生命の尊重、自殺と戦争/p97 ・ 倫理の本質からみた男女関係/p125 ・ 財産と人間/p134・うそ、偽善、秘密、真実性/p142 ・ 教会の掟/p150・秘蹟とは何か/p158 ・ 信仰生活のはじまり、洗礼/p161 ・ 成人式、堅信/p170・ミサと聖体/p174 ・ 究明、痛悔、告白/p181・病人のなぐさめ、病油/p187 ・ 聖職制度とは何か/p190・結婚生活に関する誤解/p195 ・ あとがき/p202	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06194674	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939790

MB00121	古代倫理思想史	単著	H.エルリンハーゲン 著	理想社	東京	1963	215p	<ul style="list-style-type: none"> ・序文/p1 ・ギリシャ倫理思想の始まり/p9 ・ソフィズムの倫理/p14・ソクラテス/p17・知識と善/p19 ・幸福・功利・快樂説/p22・社会倫理の始め/p26・ソクラテスの死/p28 ・プラトン/p33・ソクラテスの遺産/p34・善とは何であるか/p37 ・エロースと快樂/p44・徳と諸徳/p48・倫理と政治との合一/p53 ・プラトンは神秘思想家であったか/p57・アリストテレス/p63・倫理的な行動/p64 ・理性の役目/p67・正しい中間/p68・徳（アレテー）/p71 ・幸福と楽しみ（エウダイモニアとヘドネー）/p73 ・人間の性質—法律と教育/p78・アリストテレスの倫理と神/p82 ・アリストテレスとプラトン/p84・アリストテレスの倫理思想の評価/p86 ・キニク派/p95・ストア/p99・古代ストア/p102・中期ストア/p103 ・後期ストア/p104・理性の最上権/p106・自然に応じて/p109 ・徳とアディアフォラ/p113・アバテイアとヘドネー/p118 ・自由と必然性/p121・賢者と進歩者/p124・家庭と国家/p128 ・ストアとキリスト教/p130・ストア倫理の評価/p135・ストアの影響/p140 ・アリストテッポス/p143・エピクロス/p146・ストアとエピクロス/p148 ・エピクロスとアリストテッポス/p150・楽しみ由来とその分類/p151 ・楽しみと苦しみ/p153・ヘドネーとフロネーシス/p155・恐れ除去/p157 ・運命と自由/p159・エピクロスと宗教/p160・友情の哲学者/p162・安心/p164 ・国家/p165・賢者/p168・エピクロスの倫理の評価/p170・懐疑論/p177 ・プロティノス/p181・ギリシャ倫理思想の要点/p190 ・倫理思想の体系化/p190・徳すなわちアレテー/p193・理性の役割/p198 ・友情/p202・個人と社会/p204・悪の問題/p207・後記/p213 ・参考文献/p13・引用文献/p12・ギリシャ語用語索引/p10 ・事項索引/p3・人名索引/p1 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0805479X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2935279
MB00122	信仰入門	単著	H.エルリンハーゲン 著	春秋社	東京	1957	243p	<ul style="list-style-type: none"> はしがき ・第一部 神の理解 ・神の存在の一般的確信/p9・秩序から神への道/p12・倫理から神への道/p18 ・形而上学的な神の証明とアナロジア/p32・哲学史における神の認識/p45 ・信仰と科学/p53 ・第二部 人間の本質と神/p65・精神の存在と本質/p67・進化論/p75 ・自由意志/p81・魂の不滅/p87・祈り/p97 ・第三部 イエズス・キリスト/p105・天啓と聖書/p107・悪の起源—源罪—/p127 ・神の子キリスト/p136・奇蹟の問題/p153・三位一体/p167 ・第四部 教会の意義/p177 ・聖霊/p179・救世のための団体/p183・ガリレイ問題と教皇の不可謬性/p195 ・キリストが考えた教会の四つの特徴/p205 ・第五部 四終/p213 ・死と真面目/p215・審判と賞罰/p224・永遠の幸福/p233 ・終りに ・人名索引・事項索引 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0482286X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939712

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Oblak, Tadeusz		T. オーボンク		1922-2006		カトリック・イエズス会		ポーランド		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00125	あなたに愛と忠実を：婚姻に対する司牧	単著	T.オーボンク 著	中央出版社	東京	1985.4	173p	<ul style="list-style-type: none"> まえがき／1 参考文献／3 入門／9 第1章 救済史における婚姻／11、第2章 婚姻の意義と性質／25 第3章 婚姻への準備／53、第4章 婚姻する資格／64、第5章 婚姻意思／111 第6章 婚姻挙行の方式／123、第7章 婚姻の効果／137、第8章 婚姻の解消／141 第9章 婚姻の有効性／156 	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0443461X	-

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Overmans, Jacob		ヤコブ・オーベルマンズ			1874-1945		カトリック・イエズス会		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00126	近世大科学者の宗教観：加特力教会と自然科学	単著	ヤコブ・オーベルマンズ著	カトリック研究社	東京	1926	55p	一、皮層の文化/1・二、大科学者は無神論者なるか/3 三、ヘッケルの『宇宙の謎』の喜悲劇的運命/6 四、十九世紀のカトリック自然科学者/11 五、確信あるカトリック信者/14・六、重要な結論/18 七、カトリック信者なる大科学者の数の制限せらるゝ理由/20 八、非公教の学者の多数ある事実は公教会の真理が確証なきか為か/26 九、近代思潮発展の経路/28・十、反カトリック的教育/31 十一、哲学の没却と混乱/34・十二、宗教に対する冷淡/39 十三、内心の不安/42・十四、臨終の改宗/44・十五、カトリック信者たるの勇氣/46 十六、ピロンとアナクレオン/49・十七、公教徒の責任/52・十八、結論/54	http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB22244881	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1122078